京城日報
夕刊
一月廿五日(月)

すき燒 鳥料理 水炊
本町二 喜樂館横
喜久家
電本[illegible]八[illegible]番

上海の排日益々悪化し 遂に我公使舘に放火す

上海公使官邸に 怪漢侵入して放火

抗日會員の仕業と判明

【上海廿四日發電】今夜七時半フランス租界ビション路にある我が公使官邸のベランダにぼろ切れに石油を注ぎ火をつけて投げ込みあるを發見した、直ちに消し止めたので大事に至らなかつたが附近に抗日會の徽章が遺棄しあるを發見した、目下公使が不在で同所は嚴戒しあるに拘らず警戒の目を盗んで官邸を抗日會員が燒き拂はんとしたこと明瞭で一層警戒を嚴にし共同租界警察と協力して犯人を嚴探中、我が陸戰隊でも此の種事件を警戒するため一切出入を禁止した

國交斷絶宣布以上の大事件

◇―陸戰隊首腦部語る

【上海廿四日發電】公使官邸燒討事件に關し陸戰隊首腦部は語る

事茲に至れば國交斷絶宣布以上の大事件だ、最早や口頭、文書では駄目だ

村井總領事から 最後的要求提出

滿足なる回答を 得ぬ場合は卽時決裂

【上海廿五日發電】廿五日午前村井總領事は市長吳鐵城を訪ね支那側の回答を促し、若し回答が日本側の滿足出來ぬ時は卽時決裂すべく決定した旨發表された

選擧戰に備ふ兩黨

【上】民政黨で廿三日若槻總裁、永井幹事長と遊說用トーキーに納まつてゐるところ【下】は與黨選擧事務打合(廿二日本部にて久原幹事長を中心に對策協議)

紡績聯合會の 對支聲明書

【上海廿四日發電】紡績聯合會の對支聲明書は二十四日午後五時[illegible]公表されたが全文左の如し

抗日救國會なる横暴團體は日貨排斥を事とし之に對し支那當局に屢々嚴重抗議せるにも拘はらず益々其の横暴甚しく一般商人の意に反し公然と使用日貨を强奪押留し、又は日貨取扱の理由を以て役傷に私刑を加へ、監禁又は[illegible]を加へるなど横暴極まりなし、吾等紡績業者は過去五ヶ月に亘り新規商習は勿論購用品引渡も一切履行せしめず製品排積し屢々工場閉鎖の危機に瀕せるも六萬の使用支那工人と其の家族を合せ三十萬人の糊道を斷つは人道上社會道德上忍び得ぬ故多大の犠牲を顧みず本日迄操業を繼續せしが今や閉鎖の已むなきに至れり、一旦閉鎖の曉には之等多數の失業工人を出すこととなり意外の事態を惹起するなきを保せず、事茲に至れるは一に貴方官憲が反日行爲を默認せし結果にして之に依り生ずる一切の責任は貴方の負ふべきものなることを聲明すると共に事態は斯くの如くなるを以つて速かに抗日會を解散せしめ事態の發生を未然に防ぐ計を要求す

米國エキスプレス社 上海支店長

支那兵に射殺さる

【上海廿四日發電】廿四日午後亞米利加エキスプレス社上海支店長オーストリア人エー・ボーゼス氏は自動車を操縦上海郊外、虹橋飛行場附近を通過した際支那兵の爲めピストルで射殺され、外人間に大センセーションを起してゐる

上海駐在の 警務官後任

田邊通譯官に決定

思南路警察署長に榮轉の[illegible]在滬警務官の後任については[illegible]未補充のまゝであつたが[illegible]附を以てハルビン駐在[illegible]が上海駐在に、又同氏の後任には保安課田邊通譯官が駐在することゝなつたが田邊氏は二十七日夜出發赴任の豫定であると

千山、望海山一帶の 兵匪を總攻擊

わが空陸からの猛擊に 敵兵は死物狂ひの抵抗

【朝鮮軍司令部發表】室師團長は大凌河東方山地を巢窟とし時々泰山線沿線に襲撃し來る約三千五百の匪賊團を何團殲滅を命じ行動を開始、麾下各部隊は二十四日北鎭北方約十キロ少嶺子附近に於てこれを包圍[illegible]敵の余滅を期し攻擊しつゝあり

【[illegible]廿五日發電】二十四日夕[illegible]中島校[illegible]完全に敵兵[illegible]を遮斷したわが村井・[illegible]に入るとともに[illegible]し[illegible]を中心として封鎖を完了したが隣夜の[illegible]攻擊を停止し二千[illegible]の兵匪をわが包圍内におき睨み合ひのまゝ夜を徹した、廿五日拂曉[illegible]に[illegible]、[illegible]中を侵して大凌[illegible]攻擊を開始したわがタンク隊[illegible]ドカー隊は[illegible]に突入[illegible]に[illegible]共同作戰[illegible]これ[illegible]飛行機の[illegible]により千山望海山一帶の谷間に雲集する兵匪の集團に猛烈なる攻擊を加へつゝある、袋の鼠となつた兵匪は我堅陣を突破すべく死物狂ひの抵抗を試みつゝあり、こゝに二[illegible]

支那側南京から 二萬の大兵を 上海に輸送配備す

【上海廿四日發電】支那側は南京から二萬の大軍を上海に輸送中で内一萬は既に龍華に着き上海周圍に配備されたと

火藥爆發から上海大混亂

【上海廿四日發電】二十四日午後四時二十分頃上海南市を揺がす大音響おこり同時に港外南に當りおびただしく黑煙揚り日本軍の行動開始と見て大混亂をおこしたが公安局發表によれば爆發は上海江南造船所の支那火藥庫から出した火藥を支那官衙に積み更に小蒸汽に積み龍華の支那陸軍司令部に運搬途中小蒸汽からの火の粉が飛び爆發したもので現場は[illegible]修羅場を呈してゐる

證據物件の發見と犯人判明

【上海二十四日發電】公使官邸を襲つた抗日救國義勇隊員は二名で午後六時四十分過ぎ[illegible]の報酬を受け[illegible]邸内に潜入したもので犯人は現場に動かし難い證據品として石油[illegible]の外抗日救國會員名の入つた徽章、ピストル一挺[illegible]遺留されてゐた

能登呂上海入港

【上海廿四日發電】航空母艦能登呂は二十四日午前十一時四十五分入港し、居留民は熱狂して歡迎した 將士の意氣頗る盛んである

武裝軍警を配置 戒嚴令を布く

我軍も要所を監視

【上海廿四日發】支那側は我軍の支那街進出に對抗すべく同夜[illegible]路、[illegible]路等一帶の[illegible]の支那街に鐵條網を張り廻らし、武裝軍警を配置し、別に戒嚴令を布き、夜に入つては交通を遮斷した 我が陸戰隊も支那街租界の要所にヘルメット着用の武裝兵を配置し支那側の態度を監視してゐる

獨立〇〇隊 法庫門に入城

同地一帶の治安維持

【[illegible]】[illegible]に依り獨立〇〇隊[illegible]大隊の主力及步兵〇〇隊[illegible]門に入城した、直ちに[illegible]の治安維持に[illegible]てゐる

十五日の大激戰は展開された

我飛行機一機 擊れて墜落

搭乘者は戰死を遂ぐ

【滿洲十五日發電】今次の戰鬪[illegible]大討伐に大活躍をなせる我飛行機の[illegible]二十四日午後[illegible]西方[illegible]キロの地點に於て優勢なる敵匪の[illegible]

敵匪の死傷 六百餘に上る

わが軍一名戰死

【滿洲十五日發電】[illegible]敵匪の死傷は[illegible]六百餘に上るが我軍の[illegible]戰死〇〇聯隊[illegible]一名[illegible]である

臥山堂閑話

議會の解散

◇僕は二十九年振りに始めて新聞記者席から議會を傍聽したが何となく懷かしい氣持に打たれた。

◇開閉を見れば何れも若い人達許りで僕位の年配の新聞人は見當らなかつた。矢つ張り僕も年を老つた な―と當り面の事ながら感慨に耽つた。

◇議場の光景は當年と餘り變らなかつたが、當年の貴族院は[illegible]と稱せられて傍聽人などは非常に淋しくて議員として[illegible]の落ちる音[illegible]へ聞こえさうであつたが今は押すな押すなの[illegible]めの形である。

◇[illegible]頭大養首相の施政方針演說が[illegible]あつたが型の通りの[illegible]演說で何の香もなかつた。元來木堂氏の演說は僕の壯年時代には有名な雄辯で彼の[illegible]を刺す論法に[illegible]挿み其の態とらしからざる態度に[illegible]て[illegible]たる[illegible]は反對黨の一大脅威であつたが今や木堂老い[illegible]の四[illegible]より高聲に[illegible]聲を聞くに[illegible]つた。[illegible]の[illegible]に對する[illegible]の[illegible]の場合と[illegible]の結果による心境の變化によると[illegible]したが如何にも[illegible]

◇[illegible]外相の[illegible]演說は[illegible]の成績であつた。尤も其の[illegible]余りに低かつたためでもあらうが[illegible]年の若いせゐでもあらう矢張り政治家は若いのに限る。

◇高橋藏相の演說は大藏省よりも一歲の長者なるにも拘らず其の[illegible]比の[illegible]と[illegible]しき[illegible]者を[illegible]くも[illegible]のありて其の論[illegible]も[illegible]として反對黨を[illegible]するの感があつた、併し此の老政治家として[illegible]りに反對[illegible]の攻擊に急なるを惜むの感があつたが味方はやんやと喝采した。

◇井上前藏相の[illegible]高橋藏相に對する質問は明快であつた[illegible]

時間が足らなかつた。高橋藏相の[illegible]は[illegible]刀の[illegible]に大きく井上前藏相の[illegible]は[illegible]刀の如く鋭利であつた。

◇衆議院の演說も三相共貴族院に於けると同一の[illegible]演說であつた[illegible]若槻相の演說は貴族院に於けるより[illegible]世界の說明が少し許り挿入せられたのみであつて別に變つた事もなかつた

◇衆議院は豫想したよりも靜穩であつた。民政黨が[illegible]しきを[illegible]する者もあつたが[illegible]政治の本[illegible]より[illegible]き事である。

◇さるにてもあれだけ思ひ切つた高橋藏相の[illegible]內閣攻擊演說を何の[illegible]

◇唯だ惜むべきは衆議院に於て一部の反對黨の質問を許さなかつたのは[illegible]許りではない[illegible]の[illegible]政治に於て[illegible]ならざるものゝ一つであると思ふ。

◇斯くて第六十議會は昭和七年一月二十一日午前十時貴族院に於て政戰の火蓋が切られ午後三時二十五分衆議院に於ける解散の詔勅により[illegible]を降りた。併し眞の政戰は之から初まるだらう。

◇[illegible]ヶ月後の[illegible]の結果や如何に

(一月二十一日夜[illegible]にて)

飛行機大行進

奉天から戰場へ 愛國機も參加

【奉天廿五日發電】八木中尉操縱河野[illegible]中尉同乘の偵察機、加藤大尉操縱武田大尉同乘の愛國第一號偵察機を先頭に偵察中隊および第〇、第〇飛行中隊の全主力は午前十時奉天飛行場を[illegible]西方に[illegible]飛行[illegible]の[illegible]を[illegible]りくれんと[illegible]の[illegible]を[illegible]いて一路戰場に向け[illegible]行進をなした

兩勇士の死體

友軍の手に收容

【錦州二十五日發電】花澤大尉搭乘の飛行機が正安附近で敵匪の[illegible]を[illegible]落したのは二十四日午後一時で[illegible]の[illegible]に墜落したのであるが後時無事兩勇士の死體は友軍の手に收容された

け隊落花澤田中兩氏は名譽の戰死を遂げた[illegible]機は敵彈の集注を受けて之に[illegible]を加へた[illegible]

皇軍到るところ 熱狂的に歡迎

チチハルは全く安定 市街は好活況を呈す

【[illegible]】張學良の錦州[illegible]と共に滿洲各地における[illegible]は[illegible]服從する者なく、[illegible]我皇軍の[illegible]下に[illegible]て在留支那人の[illegible]狂的[illegible]の如きは如何に我[illegible]てゐた[illegible]の一部は目下チチハルに入城し我皇軍の下に同地方面の治安に當つてゐるが、之がため外地商民は日支の[illegible]を[illegible]じ[illegible]は全く安定、[illegible]閉ぢてゐた戶も全部[illegible]け目下チチハルは平和に[illegible]るが如き好活況を呈しつゝある

電氣公營代案

反對聲明を

十五府議員から發表

[illegible]府會の[illegible]府議十九名[illegible]の名を以て發表[illegible]された[illegible]の聲明書に[illegible]した[illegible]府尹の意思に[illegible]として[illegible]府民の總意を無視しての代案要求とは何事か、これを[illegible]とするものである[illegible]府民の利益を[illegible]する[illegible]を[illegible]する[illegible]ものである

昭和七年一月二十五日

府會議員

[illegible]

選擧對策を練る 警察部長會議

けふ内務省に開く

【東京電話】選擧に對する政府の取締方針は本日の全國警察部長會議にて中橋内相より左の如き訓示を以て示された

[illegible]

選擧取締方針

中橋内相から訓示

【東京電話】[illegible]本日の全國警察部長會議に[illegible]

一、[illegible]

[illegible]

指示事項

[illegible]

八

[illegible]

航空往來

[illegible]

あすの天氣

晴一時曇

[illegible]

茂平次兒狀

本日休載

主婦之友

妊娠から安産までの心得 (二月號別冊附錄)

全部二色刷の折疊式の美本!!

妊娠から出產までの妊婦の心得が一目で判る

この一冊さへあれば[illegible]の十ヶ月[illegible]もお產の前後も大安心。[illegible]

妊娠一ヶ月の心得

妊娠二ヶ月の心得

妊娠三ヶ月の心得

妊娠四ヶ月の心得

妊娠五ヶ月の心得

妊娠六ヶ月の心得

妊娠七ヶ月の心得

妊娠八ヶ月の心得

妊娠九ヶ月の心得

妊娠十ヶ月の心得

出產時の心得

お產後の心得

第三附錄 八大美人画家の色紙傑作集

五十錢(送料[illegible])

主婦之友社

故古賀大佐以下 思出の羅南に還る
寒月中天に高く哀愁至り 肅々として所屬隊に向ふ
しめやかなお通夜

【羅南特電】羅西戰外武士の花と散り護國の神と化した羅南騎兵第二十七聯隊長故古賀大佐、副官故米井少佐、故野口大尉及び歩兵第七三聯隊故石野大尉その他十七勇士の

貴き遺骨

は、二十四日午後七時四十八分着列車で僅か一ヶ月前に萬歳の歡呼の聲に送られて勇ましく門出をした思ひ出深い羅南に還つた。この忠魂を迎ふべく羅南官民を陥んせず老若男女を問はず折からの寒さをいとはず、時間前から續々と繰出し、驛前から騎兵隊及び歩兵第七十三聯隊まで十數町の沿道兩側に嚴然と列し、プラットホームには騎兵第十九聯隊長を始め軍部關係者、富永知事他官民有志、特校愛國婦人會、新聞記者等が列を正し、構内から沿道には數十の篝火を焚き連ね、空前の人出ながら一種のもの淋しい状況のうちに時は至つた。やがて悲しく汽笛と共に列車は滑り込み、各方面の沿線各地から供へられた無數の

花輪供物

を先頭に故古賀大佐のは岡瀧大尉、故米井少佐のは鈴木中尉、故野口大尉のは臨刈少尉、故石野大尉のは齋藤中尉その他何れも龍胸に捧げられた遺骨はそれぞれの部隊付き並び御醐靈に入り[illegible]た

の先頭で肅然と隊を正して迎ふる人々の前を靜かに進み、背負部を抜け順序をそれぞれの原隊に向つた。數個の白地高張り提灯を先頭に何れも徒歩で、騎兵隊から百名步兵隊から四百名の護衛兵が附從ひとして進む、道の[illegible]人の心中を察し、とくにいたいけな子供迄の姿を見て、迎へる者は何れも涙にむせび、すゝり泣きの聲がおこり、折から寒月中天にかゝり

物悲しく

地上をてらして一人の哀愁をそゝつた、かくて遺骨はそれぞれ所屬隊の將校集會所に安置され、通夜をはじめ多數の人々により盛んなうちにもしめやかな通夜が行はれた

李王玖殿下 御胎衣御納式
廿五日嚴かに執り行はる

李王玖殿下御胎衣御納式は二十五日李王職において朝鮮古式により いとも嚴かに執り行はせられた。宗廟十時[illegible]より御胎衣を納め奉つた太箱を韓李王職長官は御胎室自動車にて奉遷し奉ると、李王職[illegible]の奉する奉幣神に行列は肅々と敦化門に向ひ、李王職[illegible]御胎室自動車を先頭に[illegible]、[illegible]、[illegible]、保[illegible]、李[illegible]長、[illegible]、[illegible]、順次供奉申し上げ、高陽郡神道面御胎封地まで西道守[illegible]、參丁、壯丁、巡査部長、昌徳宮警長の御先迫で胎宗彩羅は續長官以下これに從ひ朝鮮古式の行列を練つて西三陵内胎封地に到りいと嚴重にしつらへられた鐵骨コンクリートの御胎室に御胎納申上げ午後二時式の一切を終らせられた

東京の建國祭
六ケ所で式典

【東京電報】來る二月十一日は建國二千五百九十二年の紀元節に當るが、當日神宮外苑日本青年會館内建國祭本部を中心に東京では諸種の催しが行はれることになつてゐる。即ち當日は在郷軍人會、男女青年會青訓生少年團、學生、宗教、教化諸團體、音樂隊、町會・消防組、[illegible]、[illegible]人[illegible]合工場商店等が九段靖國神社境内芝公園外苑相撲場、上野公園、[illegible]草公園、深川公園の六ケ所の式場に參集して盛大な式典を擧げ、全員宮城前に行進して天皇陛下の萬歲を三唱して解散後、代表者は明治神宮に參拜することになつてゐる。尚當月は各所で講演建國の夕等の催し等[illegible]より六ヶ武道の擧行、[illegible]、兒童作品展覽會、風揚會その他の催しがある筈

貧民に寄附

府内黃金町三丁目大久保喜敏氏は毎年歲末に貧民救濟費に生活向上を資助のため白米一千袋と活力肌着と名づけたメリヤスシャツ五百枚を寄贈してゐるが、今年も寄贈することゝなり目下府方面事務所と共窓署にて貧民調査中であるが來る廿七日方面事務所及大久保氏邸において配布することになつてゐる

大怪盜團 廿五日送局
長い罪名の左奈田

【平壤特電】平壤署へ檢擧された鮮銀平壤支店金庫破りの七十八名團怪盜事件犯人平壤府[illegible]町遊廓松の家主人左奈田萬吉(三)を始め共犯者元同支店給仕城森九夫(二)[illegible]町六[illegible]番地無職[illegible]平壤七番地無職濱田福次郎(四〇)[illegible]町一〇七番地堀物商賣業[illegible]町二五番地堀物商[illegible](二)の六名は左奈田は建造物毀棄窃盜誘拐證券僞造行使詐欺、城塞は建造物毀棄窃盜、兼子は證據湮滅、濱田は贓物收受犯人隱匿罪として一件書類とともに又佐奈田の妻マツノ(三七)濱田の妻マツヨ(四一)は贓物收受罪として書類のみ二十五日午前十一時平壤署から地方法院檢事局へ送致された當日の平壤署前は見物人で埋められた、なほマツノ、マツヨの二名は二十五日中に歸宅を許されることとなつた

五百の海女達 駐在所を襲撃す
濟州島では大騒ぎ

かねて海底採集物の買上價值引上げにつき猛運動をおこし去る十二日海女組合[illegible]島司を訪問暴行の網巣中二十名の檢束者を出した濟州島海女等は、二十四日未明約五百名の一團を組織し喚聲を擧げて細花駐在所を襲撃、檢束者の釋放を迫て慰謝する等の狼藉沙汰に及んだ、これにより同駐在所では直ちに非番巡査の非常召集を行ひ間もなく散會せしめたが、その際巡査一名は輕傷を負ふた

和光教園 女生教室を燒く
損害約七千三百圓

二十四日午後十時半府内觀水洞二十番地和光教園の一室より發火し和光教園本館と男子寄宿舍四十坪と、同舍館所一棟合計約四十坪を全燒し、同家主[illegible]番地[illegible]宅醫院[illegible]と十五坪を燒失したが、直ちに消防隊によつて同十一時鎭火した、損害約七千三百圓、原因は同校宿直室の[illegible]炭を小使金[illegible]が[illegible]でさき過ぎて同室に積んであつた器具に火が移つたためである。なほ同校は男女生二百名を有しうち燒けた校舍は女生徒一年から四年の教室なので、二十五日より一部教授をなし午前、午後と分けて教授することになつた

殘留力士で 春場所をうつ
廿五日新番附發表

【東京電報】殘留力士で初日を明ける事になつた大相撲協會は、廿四日午前新番附會議で大體方針を決定、廿五日正午最後の會議を開き具體的決定をなし同日夕新番附を發表する事に決した、初日は愈々大寒の三日がかりんぼうに當るとて[illegible]きかつぎ[illegible]されて[illegible]は十四日に[illegible]を取[illegible]れる[illegible]

米人の 日本從軍熱 願書殺到す

【東京電報】米國人の日本軍從軍熱が盛んになり、最近も陸軍省に續々願書が到着しつゝあるが、其文章は露骨的にアメリカのヤンキー連だけに日本の立場に同情し以上ステムソン國務長官が何と聲明しようとも日本を贔屓するのだと率直さを見せてゐる

了にするの選擧權あるを認むることを原則とすれども同規則第八條第一項第一號に從ひて同五號に規定する所謂の主旨を示すべき選擧人なる言葉は常に選擧人たりしものをして包含するものと解せざるべからず
二、投票を買收したる者に對し其の報酬となす目的を以つて選擧終了後に金錢、物品等を供與したる場合においてはその供與を受けたるものが選擧當時選擧人たりしこと明かなる限り同規則第八條第一項第五號の規定を適用することを得べくその選擧に關して選擧資格を有せざりし者の如きは寧ろ問ふ所に非ず

來る春も待たで 死にゆく哀れな人
鐵路の露と消えた ――果敢ない轢死事件

鶏[illegible]前に生きる若さを持ちながら、悩み多き浮世に苦しみにうちひしがれて生存の無意義をさとつた若き人の辿るべき最後の途―――。自らの生命をたち、祝福されんとする將來の望みをすてた人々がある廿四日夜から廿五日未明にかけて鐵路の露ときえた三件の轢死―――逃げ得ぬ社に咲いてか若き男女の情死事件であり、他の二つは、生活苦にさいなまれてのはかなさを嘆つ朝鮮青年の死である、更に又夢をたくモルヒネの病魔に憑かされ、知らずくの中に死の深淵に飛びこんだ内地人年増婦人の死それら一切は死の悲劇を語るものであり、あまりにも淋しき社會斷面の現實ではある

抱合飛込の 内地人男女
二人共即死し 身許が判らぬ

【大田電話】廿五日午前四時四十分、釜山發京城行第一列車が大田驛西門を進行中京釜線と湖南線の分岐點で内地人の男女二名の轢死者があり、列車は急停車して死體をしらべたところ男女とも卅一、二歳で男はメリヤスのシャツに縞紺の背廣を着しその上に將校マントをまとつてをり、懷中には五十二圓の現金を持つてをり、女は紫色の羽織、みどり色の着物銘仙縞色の下着といふ服裝、クロームの腕時計を所持してゐるのみで身許全く不明、所轄署では附近の駐在所[illegible]

清凉里附近で 若い朝鮮人自殺

廿四日午後十一時半頃、京城發京元線列車が清凉里北方一キロメートルにさしかゝつた際ルンペン姿の朝鮮人青年十二四歲ぐらゐの男が線路中に於けて飛込自殺を企て轢死した、住所、身元ともに不詳、死體は府東署府に引渡した

往十里で 轢死

廿四日午後九時卅分往十里附近において京元線列車が、[illegible]いてみると同人は轢死してゐるので驚き、かくと大平通派出所に屆出た。死體は檢分の上府廳に引渡される

下り往十里近き車、馬車府町[illegible]中、年頃廿歲前後の[illegible]車に身體をあてゝ殺害を[illegible]これも身許不明である

突然死ぬ
モヒ中婆さん 死體は府廳渡し

府内太平通り二丁目一八〇番地水ほむね(五〇)は多年モルヒネ中毒のため路上にふして倒れた、廿五日[illegible]府廳に[illegible]

貧困者に施米

[illegible]

選擧「新判例」
選擧人が失格しても 當選者が贈與出來ぬ

京城支部では曩に鷹米の選擧違反事件に[illegible]

新判例を作つた事件の内容は昨年平北道評議員選擧の際基源氏が選擧運動者として當選後報酬を與へた事件を[illegible]

(註)一、朝鮮地方選擧規則に選擧人とは選擧人名簿に登錄せられたる時より投票時間迄の者を[illegible]

優良署員表彰

西大門署では昨年一年間成績優良なる左記五名を表彰し、大野署長から賜品を[illegible]

映畫もどきの 西大門署大捕物
格鬪の上逮捕して一巻の終

府外高陽郡龍江面[illegible]府外新村の某家に[illegible]同が米俵をぬすんで、これを又盗み取つた荷車を京城府内に運び賣却してゐるのを西大門署で探知し、

仁川の 麻雀賭博

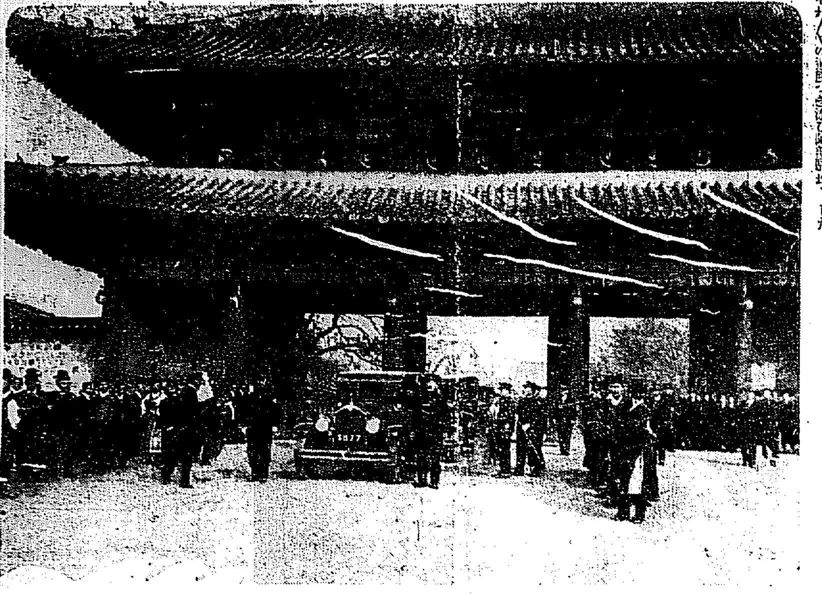
【仁川發】二十三日午後十一時頃仁川府支那町[illegible]公寺記方二階で支那人二十名が麻雀賭博をなし居る旨の密告を受けた仁川署では

ドーズ氏誘拐の 大陰謀遂に發覺
シカゴ諸紙の報道

【ワシントン廿二日發電】今朝の市俄古[illegible]新聞は市俄古に於て[illegible]ドーズ氏を、ワシントンから送還しようとした大陰謀が發覺したと報道して大センセーションを起してゐるが、ドーズ氏は二十三日も常と變らず[illegible]

冬も手足を美しくするオゾ
オゾ……は、ヒビ、霜燒、アカギレの特効藥、怪我、火傷の應急手當藥
一人一個の重寶藥

旗
カタログ進呈
京城黃金町五丁目
龜屋旗店
電本一五八五


玖殿下御胎衣敦化門を御出門

三井物産の メヤム号
安く 強い
躍進又躍進

良い車を安く!!

豫てから三井物産に於て不斷の研究を續けて居りましたが今回愈完成いたしまして「メヤム」號と命名し内地は固より遠く海外迄輸出を企て世界の市場に一大飛躍をこころみる事になりました。

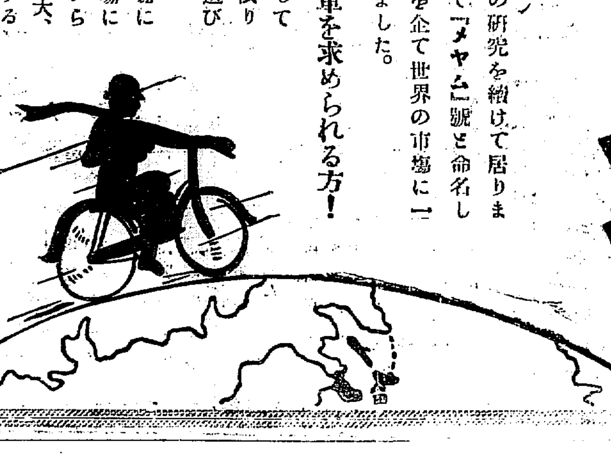
自轉車を賣られる人! 自轉車を求められる方!

堅牢第一主義・大衆を目標として「良い車を安く」のモットーに依り製作されたる「メヤム」號を御選び下さい。

各部分は何れも一流の專門工場に於て製作せられ三井の組立工場に於て嚴密に檢査の上組立ますから全く完全無缺、其の耐久力の絶大、價格の低廉、正に本車の誇とする所であります。

説明書進呈

特約店急募
徹底的宣傳に呼應し本車の普及に努力せんとする活動家を求む



元賣發國全
三井物産株式會社
朝鮮一手販賣
合名會社 松田清商店機械部
京城南大門通二丁目
電本二四一〇・二九二八
振替口座京城一三一二九

最年少のスケート選手【上】

第十回國際オリンピックのトップを切る冬季競技に來る二月、米國ニューヨーク州レーク・プラシッドに於て舉行せられることとなつたが、これに參加する世界一流の選手に伍して年僅かに十二歳の一少女が、スケート代表選手として出場する。それは、英國代表のミーガン・テイラー孃でオリンピック競技參加者中の最年少者として、今からその活躍を期待せられてゐる。圖は……ロンドンストリーザム・リンクに於て練習中のテイラー孃(十二歳)

珍競技「ベビー・ポロ」

【下】米國南部の避寒地アトランタに、金と時間をもてあましてゐる有閑階級のヤンキー娘が新しい刺戟を求めて狂奔してゐるが、彼女等の無聊を滿足させる……ふざけたスポーツ『ベビー・ポロ』……ベビー・ポロに興ずるヤンキー娘

新入學兒童を持つ父兄の爲めに(二)

京城府視學　松橋喜代治

次に就學兒童と小學校の教育に付て聊か所感を述べさせて頂きたいと思ひます。申すまでもなく、お子供の極めて幼稚なる時代に於きましてはその教育は主として家庭的方面であり、家庭に於てこれに從事すべきものでございます。併し大きくなりますれば、だん／＼と人としての教育も必要になつて參ります……

新春にふさはしい小女向スエーター

須伯佐美子

材料 ラクダ色毛糸十一オンス、茶、綠色、白、一オンスづゝ

編方 ……

新樂器セルミンとは どんなものか

大場勇之助

兩樂器共 ……

而して先 ……

次に音色 ……

眞の意味 ……

アイスホッケーの見方(2)

鐵道局　宮川泰

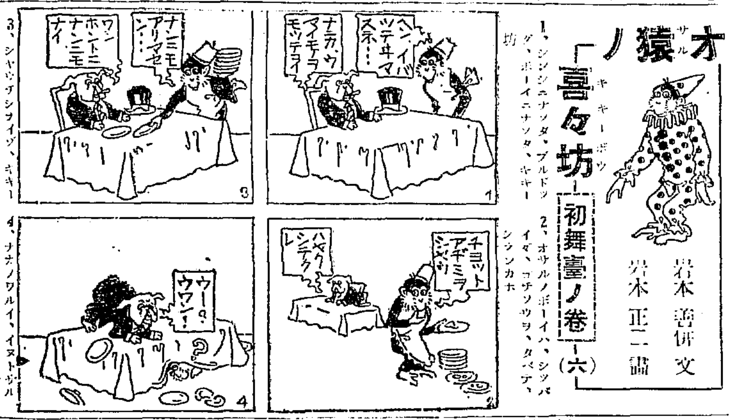
フェンスの利用法 フェンスとは長さ二百呎乃至八十五呎の板圍を……

ゴール ゴールとは二本の……

戰法 ……

オサルノ喜々坊(キャーボウ) 初舞臺ノ巻(六)

岩本善併文　岩木正二畫



1、シンシンナンダ・ブルドッグ・ボーイニナッタ・キャキャ坊
2、オサルノボーイハ・シッパイダ、コチソウヲ、タベテシマッタ
3、シャツチシナイデ・キキー坊、ハラヲタテタ、ブルドッグ
4、ナンノワルイ、イヌトサル、ココデモ、シバヰガ、メチャメチャダ

JODK 二十六日(火)

……

家庭講座 生花と有籍植物に就て

廣田耕司

講演 內地漫談と國際事情

山田勇雄

おめでた

……

獻金と慰問 金品寄託

朝鮮軍司令部愛國部宛

……

給仕一名採用 但し尋六卒程度の內地人希望者は履歷書携帶二十六日午後三時より五時迄に本社庶務へ本人來談

貸借對照表

朝鮮商業銀行 (昭和六年十二月三十一日現在)

……

謹類燒御見舞 昭和七年一月二十四日 藤田富藏

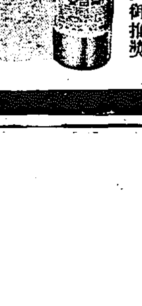
謹近火御見舞 昭和七年一月二十四日 朝鮮商業銀行 釜山支店

絕對カブレぬ 白毛染の出現!!

ホーサン入 牛乳石鹸 膚の肌理を細かにし、湯上りに知る殘り香のよさ色艶のよさ SK. 197

獨特無比の強力消化藥 タカヂアスターゼ
高峰博士發見以來既に三十餘年消化藥として益々治療界に聲價を高めつゝあるは本品の獨特無比の消化藥たることを雄辯に立證するものと云ふべし
食慾不振に、消化不良に、過飲過食に
上掲胃腸疾患のみならず、一般榮養增進の要ある諸症例へば肺結核、貧血症、虛弱者等の胃腸機能を增進する目的に廣く愛用を見る
(詳細說明書あり御申越次第送呈す)
粉末、錠劑各種
東京・室町 三共株式會社 大阪・臺北・紐育
三共の藥品

胃弱にわかもと

正しい濕布に 液狀濕布劑 キソール
感冒・肺炎等 呼吸器諸疾患の治療にはキソールの濕布に優るものなし
醫學博士 大久保 平澤 兩先生御推奨
全國藥店に販賣。詳細文獻御申越次第送呈


産金奬勵と政府の方針背馳

時價購入＝運賃割引を 朝鮮鑛業會で陳情

金輸出再禁止の實施と共に爲替相場は三割以上の金高を招き之に伴つて金地相場も急騰して、廿五日京城相場一匁五圓九十五錢、法定價に對し二割弱の騰貴を示して居るが、一方一般物價も一齊に二割乃至三割方騰貴して産金生産費を增加せしめ、而かも日銀當局は依然金地金を法定價格を以て購入して居るので産金業者は極めて不利の結果となり、中央政府乃至總督府當局の産金奬勵の施政と背馳するの結果を呈して居る許りでなく正金銀行が外國で爲替相場に依り外國金地金を購入する時は爲替相場に依りながら、内地々金を購入する時のみ法定價格に依る如きは頗る不合理とされて居る。而して内地産金業者中水曜會及産金業者では時價相場前後して日銀乃至正金銀行が爲替相場に依つて金地金を購入するやう陳情を行ひ、一方金鑛石の運賃四割値下げの實現を見て居るが、今般朝鮮鑛業者間にも同趣旨の陳情運動の機運を醸成し朝鮮鑛業會の總納、那野、野崎、吉澤四理事協議の結果、金鑛業者の生産する金地金の時價買入を懇請するか、又は日本銀行或は正金銀行をして對米爲替相場を以て金地金を買入れしむる要望を本府當局に行ふと同時に、在來鮮内鑛石運賃の割引は三割引であつたが、内地の四割引實現の結果、内鮮對比上均衡を缺くに至つたので、割引率を六割に增加するやう鐵道當局に對して陳情する事になつた

齋藤幹事長の辭表は一時預る

鮮米協會幹事會

鮮米協會では二十四日役員總會終了後京城倶樂部に於て幹事會を開き東京正米業者と鮮米同業者間の紛糾問題に關し協議したが、鮮米輸出組合側の有力者木村、堀田の兩氏より東京側との間に種々懇談した結果東京側と齋藤幹事長との間に和解交渉を開始し、その結果如何では協會に協議することとし齋藤幹事長の辭表は一先づ協會に預ることに決定した

鮮米先約賣不渡問題多難

直接交渉 迂餘曲折を免れまい

鮮米の先約賣不渡り問題に關し鮮米協會側と東京正米業者との間に於て交渉を開始することとなつたが、問題は現在に限らず朝鮮米取引の今後に對しても影響する所大なる事とて困難の度を加へて居る

約三百萬圓減

株式市場に惡影響

紐育聯銀利益

【ニユーヨーク廿三日發電】ニユーヨーク聯邦準備銀行年報に依れば、同行の一九三一年度純益は百五十三萬二千八十一ドル一九三〇年の四百五十八萬八千三百八十四ドルに比し三百五萬六千三百三ドルの減少で、例年の配當金を支拂ふには二百二十五萬九千五百十八ドルの不足を見せてゐる、この點は株式市場にも惡影響を與へた

米貸殘額一千萬圓

廿五日受入完了

殖銀を第一着に

大藏省預金部より融通される本年度米穀低資の受入殘額一千萬圓、殖銀では二十五日その割當額六百六十萬圓の受入を完了した、なほ鮮銀割當三百五十萬圓、東拓割當の萬圓も同日受入れる筈で殘額一千萬圓は二十五日を以て受入完了の模樣である

兩取合併反對別箇の方法で

飽迄初志貫徹へ

京仁兩取合併の朝取設立に對する仁川兩取の反對運動は遂に法廷爭へと何川長、阪本、仁川商議所の二氏も、合併は合理的な不正なる合併に反對を唱へ公職者總會で最後迄の手段を講じる事になり、仁川取引所の合併反對運動は別途の方法によつて合併を阻止すべく當局筋なり近く京城地方法院に提訴する事となりその成行は國係方面の注目を惹いてゐる

朝運社員大整理

廿六日一部發表 職制改正と共に

朝鮮運送會社では二十六日の重役會に於て職制改正を決定、社員大整理及び職制改正を見る筈である

一、事務當務以外の重役當勤制度廢止

二、社員約三百名の淘汰

三、課制改革

四、京城支店長管理課長の更迭

火保料率問題と會社側の態度

解決は前途遼遠

反對運動再擡頭

未解決のまゝ本年に持越した火保料率問題は火保協會本部に於て毎週水曜日に開かれる定例委員會に於て審議してゐる模樣であるが、未だ態度が決するに至らず、京城商議所の有力者等側、堀田兩氏の間には左の如くである

地場四銀行＝一齊に總會＝

地場の商銀、漢銀、東一、海東の四銀行は二十五日一齊に總會を開き左の如く配當案其の他を可決した

商業銀行 配當四分

朝鮮商業銀行第五十一期定時株主總會は二十五日午前十一時半分より同行樓上において開催

一、昭和六年下半期營業報告書、貸借對照表、財産目録及損益計算書承認の件

二、同期利益金分配案承認の件(配當年四分)

を附議し原案通り可決、利益金處分左の如し(單位圓)

當期純益金	一〇八、九二六
前期繰越金	一三、八五五
合計當期利益金	一二二、七八二
右處分	
法定準備金	一二、〇〇〇

海東銀行 四分配復活

海東銀行定時株主總會は二十五日午後二時より同行重役會にて開催

一、昭和六年下半期營業報告書、財産目録、損益計算書承認の件

二、同期利益金處分の件(四分配當)

を附議し原案通り可決、四年ぶりに四分配當を復活した、利益金處分左の如し(單位圓)

別途積立金	五、〇〇〇
配當金(年四分、政府所有株を除く)	二、五〇〇
重役賞與金	八六、八二二
後期繰越金	五、〇〇〇
	二〇、四七一

東一銀行 五分配可決

東一銀行第五十一期定時株主總會は二十五日午後三時より同行に於いて開催

一、昭和六年下半期營業報告書、貸借對照表、財産目録、損益計算書承認の件

二、利益金分配案決議の件(配當年五分)

を附議し原案通り可決、利益金處分左の如し(單位圓)

當期純益金	八九、七五七
前期繰越金	一一、一〇〇
合計當期利益金	一〇〇、八五七
右處分	
法定準備金	一〇、〇〇〇
別途積立金	五、〇〇〇
投資賞與金	五、〇〇〇
當期純益金	二六、七〇二
前期繰越金	一六、二一四
合計	四三、〇一六
右處分	
法定準備金	三、〇〇〇
別途積立金	五、〇〇〇
株主配當金(年四分)	一六、〇〇〇
後期繰越金	一九、〇一六
株主配當金	二八、一二五
第一新株配當金	

漢城銀行 三分配可決

漢城銀行の第五十三期定時株主總會は二十五日午前十一時より京城銀行集會所に於て開催

一、第五十三期營業報告書、貸借對照表、財産目録及損益計算書承認の件

二、同期利益金分配案議決の件(配當年三分)

三、取締役選擧承認、同監査役任期滿了に付改選の件

四、代表取締役選任の件

を附議し原案通り可決取締役に名譽の選擧を認め、監査役に重任、堤永市氏を代表取締役に選任して閉會した

利益金處分左の如し(單位圓)

第二新株配當金(年五分)	一一、四八三
後期繰越金	二六、二五〇
當期純益金	七七、〇八二
法定準備金	一〇、〇〇〇
別途積立金	七、〇〇〇
株主配當金(年三分)	二八、一二五
重役賞與及交際費	六、〇〇〇
職員退職慰勞基金	一〇、〇〇〇
後期繰越金	一五、九六七

舊正決濟資金需要閑散

在城支那商の表顯で

舊正も間近につれ、各銀行では朝々決濟資金の需要があり朝鮮人方面では繁忙を極めてゐるが、在城支那商人の豫想により、本年は例年に比し舊正決濟資金需要は閑散である

土地改良近く約六十名整理

土地改良會社では東拓出張所員六十餘名の整理を合併以來東拓部員六十名を、且に本年六月迄に繰上げる事になつて居るが、一方東拓としては東拓から引繼いだ約二十名の事務と協議し、總數約六十名を整理することに決定したのであるが、東拓では主として東拓關係部員にも及ぶ模樣である

東拓鮮銀の買餘地

秋田秀穗氏談

株界に株式の都入りといふ言葉がある。之は悲觀が都會に集中されることをいふのであり、株式の都入りは大相場の前兆とされてゐる。然るに本年に入つてこの傾向が俄かに擡頭し來り朝鮮に於て東拓、鮮銀等にこの傾向が顯著に現はれてゐる

東拓株

鐵道事業は將來に期待されるものである

場面忽ち買に一變

大養景氣を謳歌し 拓新朝新頗る氣丈

前場 前日の後場引けの軟調より蛻かしよく低迷の相場に一步前進して十錢高の八十錢、東新は九圓六十錢と強含みに始まり拓新百十錢、朝新、六十八錢と保合ひ

場人氣熱狂す 拓新依然熾騰

後場 前場の人氣を引繼ぎ東拓の買物に拓新も十錢の大幅に漲ぎ、買方の人氣熱狂して遂に前場を抜く大引となつた

後場 方飛び放れて百七十一圓九十錢と

東新は一擧四圓

後場 前場の人氣を受け強含み、拓新は百七十一圓九十錢と始まり、この他東新は一擧四圓を上げ、後場は前場の人氣を持越し大引けした

逆張り得策

日先上げ余地薄

殘存相場の高値を追ふ筋は甚だ少く、一般に逆張りが得策とされてゐる

保合推移

底意堅りの 利喰ひ筋の買直し物

前場 休日明けの前場は保合ひより始まり、買方の利喰ひ筋の買直しにより保合に推移した

後場 前場の保合を受けて一般に手控への氣分が漂ひ、小高下のまゝ引けた

米界展望

高見越が妥當

裏から見た相場

皮肉味發揮か

政商筋の買進み

高値往來

各地浮動から

京城延べ

前場 政府の米穀對策當然の人氣から前日來安値買の手當れ商人、新値に手を出し當限は以前より二錢二十五、後場は前場の人氣を受け、寄付後の各場の不勢に反落しても見せた

後場 前場の止め値に追隨して出來高三萬一千二百石

大阪市中在米高

大阪市中在米高は二十五日現在二百六十七萬三千六百十一俵と前日の在米高に比して二萬九千九百三十俵の増加である

堂島前場情報

【大阪二十五日發】今朝の相場は利喰ひ筋の賣物と政府の米穀對策が一時に現れ市場は賣物がかさみ

株式 (廿五日)

[illegible]

大株短期

[illegible]

期米 (廿五日)

◎朝取二川

[illegible]

大阪期米

[illegible]

鮮内各取

[illegible]

市況 (廿五日)

◇大阪棉花

◇横濱生絲

大阪砂糖現物

[illegible]

穗落

正月分の一時的な買物を雜めてみた火保料率問題は、ウンともスンとも云はぬ、火保料率の引上げ反對運動が又、反對運動の再燃を見るなんて、ものの反對運動がはつきりしない內に遅々として止まないかも知れぬ▲こんな問題は一日も早く解決しないと、實にどうかと思ふ

簡易實傳 維新俠艶録 (183)

大政奉還 (二)

橋爪彥七氏作 竹内舟古氏畫

京染なれば京屋

殖産なら清

西原產婦人科院 漢江通二二 電龍一〇三五

ネツトール 京城府明治町 林藥房

たちばな 朝鮮銘菓

京城日報
朝刊
本紙朝夕共二頁

中央公論

今發賣!! 二月號 定價金八拾錢
中央公論社

金再禁を批判する

私の見た大阪及び大阪人……谷崎潤一郎

亞細亞ロマンチシズム
亞細亞モンロー主義批判……蠟山政道

選擧買收物語……原廣史
(選擧の世の中に解散を目前にして街頭する代議士の裏面)

★★★ 鐵人荒木貞夫

毛皮の寢室……武林文子
(東亞の風雲險悪の時東洋のスターリンたる時の人の解剖を)……平田晉策

輪舞曲當世女……中村正常

廣田大使暗殺陰謀事件……茂森唯士

反英鬪爭展望……ボース

滿蒙新自由國・張學良……平野零兒

レーニン獨探說……武藤丸楠

解散に直面する犬養内閣……馬場恒吾

文藝時評……小林秀雄

弗買大儲話……小汀利得

原始社會の自殺考……井口孝親

大衆小說 函館病院……吉川英治

第二次世界戰爭發端……谷讓次

錦洲といふ所……米田實

バット馬鹿の告白……十一谷義三郎

小說 抒情歌……川端康成
小說 ファッショ……德永直
小說 都邑秘帖……里見弴
小說 途上……嘉村礒多

經濟的効果の…インフレーションの 世界經濟批判 會合

性を中心としたる佛教研究……渡邊大濤

★★★ 犬養景氣はいつまで續く

國際聯盟に於ける滿蒙問題

猪俣津南雄

牧野輝智

新渡戶稻造

特派視察 飢餓地帶を步く……下村千秋

相撲爭議の勃發まで……生駒翔翔

應用科學近代明色……窪寺佐吉

現代婦人作家論……窪川鶴次郎

グラビヤ特輯 ソヴェート映画大觀

共著 英語對照 工業術語

凡そ工業に關係ある人々は必らずこの一本を備へよ!
本學院生徒には無代贈呈す、希望者には實費を以て需めに應ず
國民工業學院 理事 工學博士
國民工業學院 理事
國民工業學院 理事
豫科教科書第四號(一月號)配本濟 新に入學し第一號より配本を受くるものには特別冊子「立身の道」と共に本書を併せて無代進呈

內容見本無代進呈
國民工業學院

二酸化チタニユーム配合

クラブ固煉白粉

濃くは艶麗に
淡くは清楚に

この白粉で
表現する
輝かしい
美の世界!

トキ皿附エリ用
クラブ固煉白粉
正價 四十五錢

大阪毎日新聞經濟部編
忽ち五十五版!!
四六判振假名付五百頁特製 定價貳圓 送料十四錢

金輸出再禁止後の投資方針

大每 續投資相談

眞ッ暗な投資界は俄然本書で救はれた!

果然、ドッと押し寄せた大小の投資家が、本書を摑んで熱狂的感激に跳ってる、それもその筈、大阪屈指の採算家をさへアッと云はせた秘法だからだ。

[illegible]

貴下の投資に 遠き算なやきや?
百發百中の投資百科全書

續篇內容目次の一部
[illegible]
◆僅か二圓を惜しむな◆

前篇 五十二版 定價一・五〇 送料・一二
▼本篇の活用から僅かの元手で一躍巨萬の富を生み感謝散貴の御山樣!
(前篇・續篇の詳細なる內容目次は新聞名記入申込次第發送す)

東京市本鄕區弓町 一元社
振替東京二一二〇三番

醫學博士 二宮亮吉
產科 婦人科
二宮病院
京城壽町四二 電本一二〇

資本金 五百萬円
朝鮮火災
本店 京城朝鮮

殖產積金 貯蓄預金
殖產貸付 及諸貸付
朝鮮貯蓄銀行
京城府南大門通二丁目

商業登記公告
[illegible]
汶山出張所

法人登記公告
[illegible]
橫城出張所

商業登記公告
[illegible]
裡里出張所

商業登記公告
[illegible]
全州地方法院

商業登記公告
[illegible]
井邑支廳

法人登記公告
[illegible]

[illegible]

京城地方法院

皇軍の忠勇果敢と作戰宜しきを得て

斷末魔の兵匪

直徑一里の圓陣內に　甲斐なき最後の反抗

【滿洲里廿五日發電】少數の兵力で三十里に亙る廣大な戰線を張り一點無線二、三無線といふ微弱な通信機關で村井部隊村田村三部隊の聯絡を執らんとした爲め、通信作戰共に今までにない苦心と苦戰をなしたが、今や包圍陣は漸次縮まり圓陣の直徑僅に一里に迫り、この狹小なる地域內に袋鼠の如く兵匪は死物狂ひの反抗を爲すべく蠢動いてゐる。長期に亙る匪賊の完全殲滅は數時間の後に迫つた我兵よくこの十二分の成績をあげ得たのは滿洲事變以來の大成功で、思ひ切つた全軍將士の戰ひのたるは勿論であるが、又一面長谷部師團長等の作戰計畫よろしきを得た結果であると賞揚されてゐる

包圍線を縮小し　亟潰しに殲滅

廿六日未明を期し　一齊に行動開始

【滿洲里廿五日發電】今朝來我軍各隊は包圍線を益々縮小し賊團を望海山、千山奧地に壓迫し我飛行隊は彼等の隱れ場所とする溪谷を目がけて盛んに〇撃を加へ之を粉碎した。午後四時迄の狀況によれば兵匪の死者數百名に上る見込で、判然したる數字は未だ不明であるなほ敗殘兵匪は武器彈藥を同地に埋め便衣に變裝し散亂して巧みに我が戰線の脫出を企てゐるので、〇團各隊は明朝未明を期し一齊に行動を開始し彼等を亟潰しに殲滅すべく意氣込んでゐる

中島枝隊

逅走中の敵匪を　包圍攻擊す

【滿洲里廿五日發電】二十四日午後村井〇隊の後方に迫つた敵匪が西方山中に逃避の惧れあるので、村井〇團本部では種々作戰中爾山の背後にあつた中島枝隊は逸早くこの狀況を知り、萬苦を冒して行動を起し午後二時頭夫山、侯家山から逃走中の敵を包圍したが、二十五日朝來の包圍線は從二里梗一里となり北の團内の山中に敵匪各所に大集結し、我に抵抗せんとしつゝあるが、午前九時猛烈なる銃聲が殷々山谷を搖がせて攻擊開始された

頭上から猛射猛擊

飛行機と大砲で

【滿洲里廿五日發電】我が討伐各部隊の包圍のうちに陷つた匪賊は望海山の谷間の二道溝北溝、五家屯、三道溝、頭道溝の各部落內に逃げ込んだ。我が各部隊は完全な連絡を保ちつゝ殘部隊をよそに進撃を續けてゐるが、前進意の如くならぬため專ら飛行機大砲を以て猛擊を加へ、各部落何れも火災を起し、火焔炎々天を焦し敵匪の損害は莫大なる如し

通遼避難民　續々歸還す

【奉天廿五日發電】我軍の通遼入城以來さきに同地を去つた避難民は續々歸還しての數既に二千に達したこのうち數人の婦女子は殆んど見當らず匪賊の爲め拉致されたらしい、彰武通遼間の打通線に一日一列車往復運轉しつゝあり

王殿中軍活躍す

わが軍と協力して

【滿洲里廿五日發電】王殿中の第二軍は村井〇隊の右翼にあつて二十五日午後十一時遼中を出發、更に二十四日午前五時村井〇隊の側翼〇隊と協力白土廠溝門に集結する敵匪に夜襲を試み奇功を奏し遂に百千方面に進出した

警備の手薄を狙はる

小隊長は戰死し　我部隊惡戰苦鬪す

大凌河驛を包圍され　手擲彈を以て死守す

【奉天廿五日發電】北寧線大凌河驛は昨夜來大集團の匪賊の包圍を受け同驛警備の我少數部隊は敵匪と激戰中である。この兵匪は昨日來襲して我部隊に擊退された有力な匪賊團で、我軍警備の手薄を狙ひ今曉四時頃闇夜を利用して驛を包圍し突如一齊射擊をして來たもので、大凌河、双陽站間の電信電話線全部切斷され、大凌河橋梁及び鐵道線路が破壞され大凌河驛は孤立に陷り、絕體絕命となつたわが中島枝隊の殘留部隊たる中村小隊長の率ゆる〇ケ小隊は、驛員と協力防戰に努めたが、同五時三十分驛構內で滿鐵社員練山準一氏は頭部貫通銃創で殉職、同七時三分中村小隊長も手擲彈で應戰中これ又頭部貫通銃創で名譽の戰死を遂げ、他に將校一名戰死、兵二名重傷をうけたが、匪賊は多勢をたのんで夜が明けはなれても猛攻擊を續け我兵は惡戰苦鬪を續けた。折から到着した奉山線第百十二列車は敵の一齊射擊を受けて立往生し、午前八時五分着の第五百二列車はこの光景を知るや錦州に急報の爲め引き返した

上空より擊滅す

【滿洲里廿五日發電】本日錦西四時奉山線大凌河驛前を破壞して守備に陷らしめた賊は、殆ど同時に双驛石山站を襲ひ、その數約二百、朝來より激戰となり、驛員と共に我兵は銃を以てこれに應戰し辛うじて驛を死守し得たが、これが爲め兵一名戰死し朝鮮人驛員女一名は重傷を負ひ青長驛員及支那人一名は行方不明となつた。敵は瞬次に現れると同時に東北方に逃走したが急報に接し急行した我飛行機のため滿洲西北部附近で正午近く殲滅されたとの情報が當地に到着した

京城電氣問題よ　何處に行く？

―男振りをスツカリ下げた―　龍頭蛇尾の十四議員　【三】

本府の電氣府力營に關する根本方針が「民營」といふことに決定したので、府會議員中の公營派は落めにもペシヤンコになつて仕舞つた。そこで彼等は日夜鳩首協議した。考へついたのが府會に電氣公營案を提出することであつた。總督府の大方針が決定してからわざ〳〵それに反する提案をしなければならぬといふのだから變なものだが、それには云ふに云はれぬ深い事情があつたといふ。勿論その深い事情と云ふのも、あんまり感心した理由に基くものではないが、これは暫く預つて置かう

◇　◇

これは兎も角、井上府尹は府會議長として府制の條文によりその提案を一應受理しなければならなかつた。しかしこの問題で府會を召集し、その提案を府會にかけるかどうかは府尹の權限內にある。こにおいて、井上府尹は『府尹として本府の根本方針に反すると云ふ理由で府會の召集を見合せて仕舞つた。此處までの府尹の措置は當然でもあり、まづは見上げたものであつた。しかし、納まらぬのは公營派十四議員である。彼等は府尹のこの措置は地方自治制度を破壞するものだと力み返り、これでは府民の代表者たる府會議員としてつとまりかねるといふわけで聲明書を發表すると共に十二月廿四日夜半十一時に辭表を纏めて府尹に叩きつけた。

◇　◇

十四議員の辭表提出理由には一應の理屈はあつた。しかし、殘念だから　この聲明書と　この顏觸れがどうも合はなかつた。といふのは、十四議員の顏觸れが顏觸れなので、こんな聲明書が何處から出たかといふ疑ひがあつた。果せるかな、十四議員は折角市民に辭表を叩きつけたものゝ表向きはさつぱり十四議員に迎合して呉れなかつた。すくなからず當てが外れたのが十四議員である。茲において少々慌て出し、深夜ひそかに某有力者の門をたゝいて仲裁を嘆願したものもあり、その他種々の術策を試みた。これで放つておけばよかつたが井上府尹よせばよいのに人を以て辭表撤回を勸告したり、自らも朝鮮ホテルで慫慂の意を通じ翻意を促したので、十二議員は『辭意は撤回』は待つてましたとばかり一も二もなく『府尹の勸告により』との理由で辭表を撤回して仕舞つた。十二議員にとつては豫定の行動だつたゞけに甘く見られたのは井上府尹であつた。

學位規則改正を遂げて

山田總長歸城

東上中の城大總長山田三良氏は二十九日午後七時京城驛着歸任した　今度の東上は城大學位令改正に伴ふ學位規則の改正の點に就て文部當局と折衝するためで、先づ當方の希望通りの改正を見去る十二日認可の指令があつた。尙來る二十八日佛蘭西のピアニスト、ジエルマルジエツクス氏が城大を後援する意味で音樂會が開かれることゝなつたが、ジ氏は十六世紀以降の音樂發達過程を辿る興味深き曲奏を試みる筈で同好者間に非常に期待されてゐる

總督けふ歸城

二十三日溫泉城發、溫陽溫泉に於て保養中であつた宇垣總督は二十六日午後六時半發で同七時京城驛着列車で歸城の豫定であると

外交手段效なき時は　斷然實力で解決

上海事件にあくまで强硬外交　緊急閣議で對策決定

【東京電報】上海事件を中心に南支の形勢は頓に重大化するに至つたので政府は二十五日緊急閣議を開き、今後帝國のとるべき應急根本策について愼重協議を重ねた結果、あくまで既定方針に基いて强硬外交方針により、居留民の生命財產の保護に對しては左の如く決定した

一、根本方針として原則的に現地保護の方針をとるも、形勢惡化の地方は可及的に被害を尠からしむるため、臨機應變の措置を講ずること

一、上海事件に對しては外交手段によつて解決を圖るは勿論であるが、南京政府にして誠意を披瀝せざる以上斷乎實力の行使によつて解決を期すること

日報と反日會を　强制封鎖に決す

工部局外八市參事會　我陸戰隊と協力して

【上海廿五日發電】共同租界の工部局外八市參事會は本日午前十一時五十分開會、民國日報事件と排日に關するわが陸戰隊の要求について協議の結果

一、民國日報の不敬事件並に陸戰隊の侮辱事件は勿論その他排日を宣傳し治安維持を妨害する行爲多き故、工部局をして自發的に强制封鎖せしむ

二、租界內支局管轄下にある抗日會本部も租界の公安を害する行動を執るを以て之も同樣强制封鎖せしむ

と決定發表された。市參事會の態度は日本側の主張を悉く是認し、この際飽くまでわが陸戰隊と協力する方針で、從來支那側から租界內に入込んでゐた支那巡警の租界入を嚴重に禁止することゝなり民國日報と抗日會本部の閉鎖は我陸戰隊と打合せの上、今明日中に決行する筈である

若し日本が上海を占領せば　飽迄抵抗

如何なる犧牲をも　厭はぬと汪精衛語る

【南京廿五日發電】汪精衛は本日に決し、政府は如何なる犧牲を拂ふとも强硬態度を持續するに決定せり、若し日本が上海を占領せば支那軍隊は飽くまで抵抗するしたと語つた

一方には　軟化說

わが要求を　容れるか

【南京二十五日發電】公表されないが一般に感ぜられるところによれば、上海市長吳鐵城は排日運動に關する日本の要求を容れるらしい。これは蔣介石と汪精衛が今や對日態度軟化し陰にその政策に賛成して來たからである

回答次第で　今明日中に最後通牒

【上海廿五日發至急報】村井總領事は支那側の都合で廿五日午後三時より市長吳鐵城と會見に決した事は直ぐ租界外の居留邦人に對し引揚命令を發すると共に、今明日中に最後通牒を發し愈よ自衞行動に訴へることゝなつた　しかしてその回答不滿足なるに於

選擧トーキー

藏相に白羽の矢を

岩手政友支部で決定

【盛岡電報】岩手縣政友會支部總務會は岩手一區候補者三名を全部當選せしめる計畫の下に、高橋藏相を擁立することに意見一致し、廿七日支部總會で正式決定し委員を上京せしめ藏相に交涉することとなつた

尾崎行雄氏

外遊中ながら　推されて立つ

【東京電報】三重縣第二區の有志は目下外遊中の尾崎行雄氏の立候補について照會を發したところ承諾する旨返電があつたので同氏を推薦候補として擁立することゝなつた。又東京第五區は無產黨加藤勘十、松岡駒吉、阿部磯雄、浅沼稲次郎諸氏が斷念したので全國大衆黨員麻生久氏が自ら立候補することゝなつた

首相司法官招待

【東京電報】犬養首相は目下開催中の司法官會議出席者を二十六日正午官邸に招待して午餐會を開く筈

【錦西】方面にて名譽の戰死を遂げた古賀大佐の後任として過日赴任

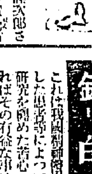
豐島聯隊長

勇躍して滿洲へ

昨夜京城を通過す

した騎兵第〇〇聯隊長豐島中佐は古賀大佐等十八勇士の遺骨を迎へに行くため、いよ〳〵滿洲に赴くこととなり、二十四日夜龍山を出發二十五日午後六時十七分、佐官騎兵第二十八聯隊長、春見軍務副官外軍部關係者の出迎へを受けて龍山著少憩の後、午後六時五十分龍山發の特急で北行したが、驛頭にて左の如く語る

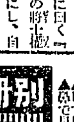
滿洲ではどの方面に赴くか判りませんが、何れ奉天着早々關東軍司令部を訪ねその命令によつて出動する積りです。多數の勇士を出した聯隊であります、この名譽を恥しめぬやう奮鬪努力する覺悟です


南山蛙

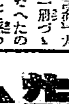
◇中野正次郎氏（國際通運社長）滿洲方面視察のため二十五日午後七時二十分京城驛發北行

◇ジエルマル・ジエツク氏（佛國ピアニスト）二十六日午前十時大連方面より入城

◇……京城の古老鈴木慶次郎さん、目出度く去頭就寶の賀齢を迎へたので、十四日の誕生日を迎へたので、知友に配布して閲覽してゐる。偶々先述六十四回の誕生日を迎へたので、舊友に配布


感謝と自祝の意味で知友に配布を配つたが、曰く「百代に目く」皇國の將士が滿洲事變のため勞苦を共にし、自ら慰安や賴を許さざるときに當つて、自祝の賀宴を避けにこの配布を配る」云々と、大いに鈴木式を發揮した。

◇……就任以來、殘務整理の完成を期し、自ら第一線にたち粉骨を傾注してゐる木村東大門署長、廿三日、昨年中の成績優良な警官五名を表彰し記念品として『誠心』『正直』『勤勉』『公平』『親切』と一冊づゝをあたへたので表彰された警官感泣して押頂いて受け取つて貰へた。通例ならばお定りの金一封をやるところだが、これを『言葉』にしたところに木村署長の眞面目あり、と好評さく〳〵。



總選擧戰線展望

【上】與黨最初の作戰會議　【下】娘子軍に召集令下る

◇總選擧に與黨としてのぞむ政友會では二十三日午後四時から本部に於て久原幹事長以下全選擧委員會合の上必勝を期して選擧對策を協議した

◇與黨女子軍も選擧戰線目がけて押寄せて來た　先づ選擧官の臨時雇、ビラ書き、封筒書き等々、娘子軍の活動ぶりに活況を呈して、をり大東京の元締である東京府廳では、早くも臨時女事務員を雇入れ大童で目下選擧用紙の整理に忙殺されてゐる

大任を全うして　一部は歸還

野戰重砲兵部隊と　衛生勤務員＝陸軍省發表

【東京至急電報】陸軍省發表＝曩に滿洲に派遣せられ關東軍司令官の隷下に於て活躍したる近衛及び第十二師團より派遣の野戰重砲兵部隊並に第一、第四師團より派遣の衛生勤務員は今般內地に歸還せしむることゝなり本廿五日御裁可の上發令せられたり

閑院總長宮　御參內

特科部隊歸還の　御裁可を仰がる

【東京電報】閑院總長宮殿下には廿五日午後二時參內別項の特科部隊の一部歸還につき御裁可を仰がれた後、關東軍の配屬特種狀況、最近に於ける支那情勢、上海事件に關し委曲上聞に達した上、午後三時御退下された

事件費緊急　勅令案廻附

精査委員會に

【東京電報】滿洲事件費及び減債基金の一時繰入停止に關する財政處分の緊急勅令案は廿五日下樞密院に廻附されたが、倉富議長は石井子を委員長とする精査委員會に廻附されることゝなつた

婦人倶樂部

二月號にはこの他　二大附錄大懸賞つき!!

知らねば大損！　ものの經濟な使ひ方集

經濟難時代に婦人方必讀の重要記事！

その道の專門家、諸先生方から充分に教へて頂いたものばかりです

婦人倶樂部二月號の特輯記事！

▲クリームや化粧水の經濟な使ひ方
▲ふけとり香水の使ひ方
▲洗ひ粉のむだのない使ひ方
▲タオルの使ひ方
▲石鹼を經濟にする洗濯の仕方
▲洋服の襟垢の上手な除り方
▲醬油の鹽の防ぎ方
▲味噌の黴と變味の防ぎ方
▲油が徳になる使ひ方
▲味醂を長保ちさせる法
▲鹽の固で美味しい煮出汁の作り方
▲野菜を柔かくする早煮法
▲下等肉の美味しい煮方
▲野菜類の經濟な使ひ方
▲人參、芋の皮の使ひ方
▲大根の皮の使ひ方
▲帽子の鍔を縮す使ひ方
▲くなつた柑酒の直し方
▲餅を搗きたてのやうにする法
▲疲れた掃物曲の活かし方
▲炭火の長保ちのさせ方
▲簡單な炬燵と安價な便利な使ひ方
▲經濟な掃除の使ひ方
▲石炭の經濟な焚き方
▲經濟なガスの使ひ方
▲電氣が經濟なアイロンの使ひ方
▲風呂の石炭の經濟な焚き方
▲風呂の湯を早く沸す法
▲水道の料金を經濟にする水の使ひ方
▲下駄類の長保ちのさせ方
▲靴の長保ちのさせ方と若返らせ方
▲ネクタイの長保ちのさせ方
▲冬帽子の新しさを長く保たせる法
▲洋傘の長保ちさせ方と買ひ方
▲ボタンの丈夫な付け方
▲ペン先の經濟な使ひ方
▲經濟なインキの使ひ方
▲靴の上手な若返らせ方
▲靴の上手な保存法
▲固くなつた靴の和かし方
▲キルクやフエルト草履の若返らせ方
▲麻裏草履の長保ちのさせ方
▲長保ちさせる下駄のはき方
▲スリツパの長保ちのさせ方

別冊附錄　佐多芳久博士著　科學的　身の上判斷　相性判斷

これは我國相學界の權威、佐多芳久博士が過去二十年來親しく接した患者等によつて得られた貴い體驗を基礎に、之に關する內外の研究を纏めた苦心の大成です！　あらゆる方面に之を應用し利用すればその有益な事は測り知れません。大體に於つてお奬めします。

主要目次
▲顏のよしあしの見分け方
▲皺で見分ける人物判斷
▲音聲で見分ける人物判斷
▲體質と見分ける人の見分け方
▲眼で見分ける人物判斷
▲手で見分ける人物判斷
▲身の上相性判斷は科學的に出來るか
▲顏の表情で見分ける人物判斷
▲口つきで見分ける人物判斷
▲毛と耳で見分ける人物判斷
▲手と足で見分ける人物判斷
▲爪で見分ける人物判斷
▲身の上判斷相性判斷の仕方
▲眼と眉毛で見分ける人物判斷

別冊附錄　新型毛絲編物　實物大型紙八種

新年號の第一冊第二冊と共に現狀の大好評を博して居ります、何れも一流大家の新考案で諸方にも説明しいものが直ぐ出來ます。

眞に破天荒の大懸賞！　帯二千本進呈

▲鹽瀨丸帶五百本
▲鹽瀨片側帶五百本

發表早々大賞附しい評判です。詳しくは本誌二月號を御覧下さい。

定價二大附錄つき五十錢（送料五錢）（全國書店にあり）

東京　大日本雄辯會講談社發行　振替東京三九三〇

社說　魚油肥統制の矛盾

◇

言ふ迄もなく水産業は、よしんばその漁獲方法が如何に進化するとも根本的には原始産業の域を脱せず、常に自然的偶發的條件に支配されるものである。從つて之が價格調節を計らんとするも、價格による調節以外統制と調整とは極めて至難である。從つて締結された朝鮮魚油肥共販統制の如きも重要なるべきこの點に於いて極めて曖昧なものがあつた。卒直に云へば、魚油肥共販統制は水産業の生産に於ける特質を無視し、産業合理化の聲に刺戟されて鑛工生産に對する統制の方策を直譯的に適用したものに外ならなかつた。されば工場生産とその生産過程に於て根本的の相違ある水産業の特性より見て、當然この統制で自體に矛盾を孕むでゐるのは事實であつた。

◇

この矛盾は果然、統制の初年である六年度に於て忽ち表面化したのである。昨年の鰯漁獲は近來稀に見る豐漁に惠まれて、統制による基本數量たる魚油二百萬罐、粕六十萬俵に比し生産實數は實に油二百七十萬罐、粕七十六萬俵と云ふ割合の超過生産を來した。之が超過生産の處分に關し一手引受者たる三井及び各同油肥に於ては契約の前提たる生産制限の不履行に因るものとして引受を拒り、生産業者は飽くまで引取を主張し、此處に兩者の利害對立は尖鋭化し、遂に咸北製造業者は敢然立ちて窮狀を訴へ、統制反對の悲痛な叫びを擧ぐるに至つた。この叫びは全鮮業者と合流し成立當時朝鮮産業合理化の劃期的措置と見られた油肥統制をして今や破産か否かの岐路に立たしめてゐる。

◇

何分統制の根本に抵觸する矛盾から醸された對立であるだけ双方の主張に理由がある。共販統制の契約より言へば引受會社の主張は當然であり必然の云ひ分であらう。昨年度の世界的恐慌は魚油肥をも悲渦中に包んで慘たる値下り、殆ど暴落を示さずにはおかなかつた。これがため引受側に於ては莫大なる値下り、ストックの買持等に增の犠牲を余儀なくされてゐる。之より見れば超過は豫定外の生産であり引取りを拒むのが當然で、時價によつて引取らんとするは大なる讓歩であるに相違ない。然し翻つて考ふれば漁獲は偶發的現象で生産附帶的にも滿たざる價格を以つて當らねばならぬ業者の窮狀は、超過品と雖も市場價格の同一であることを思へば、製造業者の主張も亦無理ならぬ次第ではある。

◇

油肥統制成立によつて製造業者の得た恩惠の大なりしは明かである。統制されたる水産業に利便を得たと共に、製品を引受會社の犠牲によつて或る時には市價の四割以上に於てすら捌くを得た譯である。生産費を割る市價は一昨年來鮮魚漁業者共通の現象であり、現統制には生産に對する矛盾は存在する、然し之を六年度に限つて云へばこの不備によつて益するを得たものは製造業者ではなかつたか。この事實を顧る事なく單に統制の事象に捉はれて統制を破滅に導かんとするは製造業者の爲め我等の斷じて與し難きところである。

◇

我等は今回魚油肥統制を破棄せよの聲が製造業者から起つたのを意外に思ふと共に、向後當然の歸趨として引受側からも亦叫ばれるであらう事を秘かに危惧するものである。我等はこの機に際し、水産の特質に鑑みたる適切なる魚油肥統制が確立されん事を望み、且つ朝鮮の新使命として水産業への賢く強き關心を喚起したい。

朝鮮の民草に　注がせ給ふ大御心　有難き御下問を賜はる

地方官會議から歸任の　韓知事謹話

過日開催の地方長官會議出席のため東上中であつた黄海道知事韓圭復氏は歸任の途次二十三日夜入城したが、聖上陛下が朝鮮二千萬民衆の上に如何に洪大なる大御心を注がせ給ふかにつき襟を正して次の如く謹話した

聖上陛下には十四日正午、地方長官會議出席のため參集せる知事一同に對して御陪食を仰せつけられ終つて千草の間で茶菓を賜はりました。その際、私が陛下の大前に伺候いたしますと陛下には畏くも

「滿洲事變で朝鮮の人心はどうなつてゐるか」

との御意味の有難き御下問を賜はつたのであります。恐懼措く所を知らぬ私は朝鮮二千萬民衆の上に注がせ給ふ大御心を拜察して今更ながらこの光榮に感激し謹んで

「事變直後は一時心配致しましたが皇軍の滿洲出動により朝鮮全民衆は安心して生業に從事して居ります。又我軍の滿洲出征に際しましては朝鮮鐵道沿線の住民は勿論、二千萬民衆は赤誠を盡して鮮滿國境に當つて居ります」

と奉答いたしました。今年は地方長官中御下問を賜つた知事は極く少數でありましたが特に朝鮮の知事に對してこの御下問を賜つたことを思ふとき益々この光榮に感激した次第であります私と一緒に出席した渡邊慶南知事に對しても御同様の有難き御下問を賜つたと承つて居ります（寫眞は韓知事）

陸軍外務新滿蒙對策協議

目下の情勢から見て滿蒙における我軍の剿匪行動も來る三月位で完了に近づき一方東三省の各新政權の基礎が確立したので我國はいよいよ滿蒙對策確立の要あるため二十二日午後三時から陸相官邸に外務、軍部兩首腦會合し重要協議を遂げた（寫眞右芳澤外相左荒木陸相）

統制そのものに反對はよくない

何故に鰯油肥販賣統制に非難の聲が絶えないのか（下）　渡邊殖産局長談

然し一手販賣がよいか競爭入札がよいかは、斯くの如き大量的な商買に關しては殊に考慮を要する點である。一手販賣にするならば取引が安定するし、從つて金融方面にも有利であると云ふ一大利益を見逃す譯には行かぬと思ふ。價格の點に於ても競爭入札にするにしても、極限られた信用のある者のみの指名競爭入札になるより外ないであらう、果してうまく競爭入札が行はれるかどうかも考慮の餘地があるであらう。更に相當大量の生

缺點短所は勿論矯正する

商品の販賣に付ては取引の安定と云ふことが何よりも大切である事に疑ひはない

反對理由の重なるものは大體以上の如くであつて、之に對する是非も上述の通りであるが、之を要するに鰯油肥販賣と云ふ大規模な取引を總督府から見て圓滑にして行かうと云ふのが販賣統制の主眼であるから部分的に見れば擾い所に手のとゞかない憾もあるであらうし、又買方に依つては取引の仲店が缺く點もあるであらう。その上に販賣統制が新制度である爲に運用に拙い處もあるであらうが、然しそれ等の氣のきかない不便な點が一方にあるにも拘らず朝鮮の鰯油肥の販賣と云ふ大局から之を總體的に見るならば、販賣の統制そのものは反對すべきものでも非難すべきものでもないと信じて居る次第である。だからと云つて販賣統制の内容が全然萬全なものであると云ふのでもないから之に附隨する短所や缺點を矯正するに吝なものでは勿論ない

買手方の不滿とする處は？

更に當面の問題に就ては本年度の出値は近年稀に見る高値であつたが爲に、昭和六年度の契約基本數量約二百十萬罐が六十萬罐超過し、粕に於ては六十三萬俵が十三萬俵の超過を見た爲、買手方その間に種々困難な問題を生じて居る。契約に於ては超過の處分は協定價格を遲れて各々間に協定する事となつて居るが、元來契約に於て價格を定めて昭和六年度分の生産品を取引することにしたのは、油に就ては二百十萬罐粕に就ては六十三萬俵と云ふ生産品を大體押へて生産制限を掛す前提の下に成立したものであるから、買手方に於てはこの超過量の多過ぎた事に對して不滿を稱へ、價格に於ても普通の時價に引取るのであるに難色を稱へて居るのである

價格五十五錢は無理でない

悶消に就ては昨年來一罐に付れ五十五錢で合同に於て引取る事を承諾したが、他の道の水産組合は價格低廉に過ぐるが爲に拒絶と決し咸北の四十五萬罐のみ賣却に決し契約を濟ませた。然し咸北の當業者に於てはこれが引渡を肯ぜず今まだそのまゝになつて居る。この五十五錢と云ふ値は大體北海道物の呼値に基いたもので（鰯粕物は販賣統制の結果賣價當然のものがないから）以前鰊粕の呼値が相當る呼値で實際取引の殆んどない點等を多少加味して算出したもので決して無理な價格ではないと思ふ。若し四十五萬罐と云ふ大量のものを契約當時直ちに賣却しようとするならば一罐に付五十五錢は適當な値であらう。

超過量についての目下三菱と交渉中だがこれの解決にも到々困難を伴ふものと思ふ、超過數量が多過ぎた點もこれが交渉を困難ならしめる重大な點である

京噴

一、十五字詰五十行以內　一、原稿に住所姓名明記の事、但し紙上匿名は隨意　一、採否は係へ一任の事　一、原稿は返戻せず

滿蒙同胞の分家と本家の責任

世界的の紛爭地であつた滿蒙に新國家を建設して、四隣の滿蒙に於ける既得權を尊重し、門戸開放機會均等の實を擧げることに對しては、在滿三千萬民衆は勿論列國關係者にも恐らく異議のあらう筈はない。そこでいよく新國家の建設される暁は、在滿百五十萬の同胞は新國家の公民權を有し、領土内において平等なる權利義務を持つて立派な市民になるであらうが、これに對してわれ等は雙手を擧げてかれ等の將來の發展を祈ると共に、かれ等の本家たるわれ等においても、この際分家するかれ等のために相應の世帶道具を用意してやり、分家後本家を恨ます子々孫々永久に本家を忘れないやうにしてやることが必要である。幸に分家しやうとするものは水田經濟には獨得の技倆を持つてゐるから、暫し當つて一戸當り約四反歩の耕地と若干の營農資金を融通してやれば生活の安定は勿論將來ますく發展するとは疑ひ難くない。

但し、かれ等の分家するに最も注意を要するとは、決して一時逃れを求めず、かならず集團部落を組成して、誇り自衛施設を完成する一方、滿蒙の名物たる馬賊の三四十位は人手を借りずに退治出來るだけの保衞團を組織せしめて治安の維持に當らすことだと思ふ（咸南三洞、一朝鮮人）

營林署整理案　一部は各道に移管

國境地方の分は直屬官署として設置

今回の行政整理により營林局の新設に作ふ土地、山林兩部の合併、社會部と宗教部の合併、地方法院支廳の事務中止等については既報の如くで議會の解散に依り當初の方針通りに斷行されることとなく大體最初の方針通りに斷行される筈であるが今回整理案中には營林署の廢止案が含まれて居り全鮮十九營林署廢止に地元民の間にセンセーションを起してゐる營林署整理案の內容は大體國境地方の營林署は新伐、流伐等の官行事業を行ふ關係上從來の如く本府直屬官署として存置される筈であるから新義州、江界、厚昌、渭原、中江鎭、新乫坡鎭、惠山鎭、茂山、會寧、咸興、寧邊の十一營林署はその儘存置さるべく今回廢止されるものは鏡城、北青、元山、江陵、晋州、京城、濟州、春川の八營林署と見られてゐる。しかし廢止と見られる八營林署の事務はその儘各道に移管され道では現在營林署所在地には出張所を設けるべく事務の遂行上は勿論地元民にも大した影響はない模樣である。又廢止營林署の職員も今後整理することなく單に一部の職員異動を見る程度のもの如くであるが職員は各道に移管されることになりその全面積は約百數十萬町歩に上る豫定である

新舊行刑課長　事務引繼

大原新任課長談

大原、土師新舊行刑課長は二十五日午後事務の引繼ぎを了したが新行刑課長大原龍三氏は語る

大正十五年から向ふ三ヶ年間西大門刑務所長として在任しましたので多少の見當はつきますが何分長く中央を離れてゐましたので一に前任の御後援により將來に處したいと思ひます、行刑界に於いても將來やるべき相當の仕事がありますからこれから一つ勉強して全力を傾注したいと思つて居りますから何分とも宜しく願ひます

駐佛大使後任　長岡春一氏決定

【東京電話】駐佛大使後任には目下待命中の長岡春一氏を起用する事に本日の閣議で決定した

時局收拾に善處したい

大連に廿三日着任の　新任山岡關東長官談

【大連電話】新任關東長官山岡萬之助氏は豫定の通り廿三日朝九時入港のまんこん丸にて著任した、本船には三浦内務局長、齋島大連民政署長、井上官房調査課長その他出迎へあり、一應挨拶を受けた後新聞通信記者を引見し靜かな調子で大要左の如く語つた

議會解散の話は船中で聞いたが、當然解散されるものと思つてゐたのであるから、これを聞いたとて今更驚きもしなかつた、そこで諸君に申上げて置きたいとは現在の時局中に此の地方の各方面に於て治安維持の任に就いてゐる帝國の軍隊に對し深甚の謝意を表することである、更に警察官も同じく警備の任を全うしつゝあることに對して敬意を表する

貴衆兩院 では過般滿洲出動の陸海軍將兵に對し感謝の意を表することの決議をしたが、この際陸海兩大臣は共に「舉國一致して終局の美果を收める」といふ意味を聲明した、正しく兩大臣の言の如く何としてもこの時局に對しては舉國一致であらねばならぬと信ずる

滿洲の土 を踏むことは始めてであるが支那に對しては豫てから深い關心を持つて居た、幸ひ今この任に就いたのであるから可及的の努力を以て時局の收拾に善處したいと思つて居る、長官としての抱負は刻々の形勢が變化して行くので、可及的の努力を以てこれに應ぜねばならぬと思ふ

前の問題は出發前に聞かされてゐたが着任後委さに事情を聽取し、現地方面の可及的增員をせねばならぬと信じてゐる云々

尚新長官は即日旅順に赴き當分在滿の上議會選擧後は上京の豫定であるといふ

その◇刹◇那

議會解散風景

◇彈丸を物ともせず、力强い一聲一語を投げかけつゝ、高橋大藏大臣は、今や、自經に觸れた口を閉ぢようとした。其の時、議席の後方に、物々しい空氣が漂ふた。書記官長は、徐しく紫の包を解いて、中から詔書を取り出し、長に渡した

◇云ふ迄もなく解散の詔勅である總理大臣、外務大臣及大藏大臣の思ふまゝの演說に、一言半句の質問を許さず、一刀兩斷に据ゑ下した此の一擊に、議員は唯だならぬ氣配がサッと拔つた、憂惜として居るもの

◇議員に侍りと緊張に促されてパタくと議席に人立ちが見えた。早くも新聞記者席では一たほの人間が出口に流れた。隱然たる程に議長は、一同の起立を促すと共に、厳かに調子で、詔勅を讀み上げた

◇「憲政擁護……僕に依り」の言葉は何の爲めの嘘聲か、其の意味は嘘に打消された、やがて議場は醉ぶ演方に沸いた。傍聽人に引ずり込まれた許りか、代議士が分らず、それでも、局部の波の最後の舞曲を見守つた

◇廊下を走る足音でドアーを鳴してただれ出る人の塊りも消えてコバルト色の椅子だけが主なきを滅しき主を待つ淋しさと期待を示すのみであつた（一九三二・一・二二・東京にて哲二郎）

◇株式◇

大株短期引跡

大新	八十二圓五	（廿錢高）
日產	四十四圓九	（廿錢高）
東新	百七十四圓四	（四十錢高）

◇期米◇

各地期米後場止

下關二五、四二▲堂島十二錢一▲名古屋二五、五四▲金澤二四、三二▲熊本二三、九〇▲大阪最終當限八十一錢（二錢高）

朝取期米本玉表

當限賣方 丸ツ二、二〇〇丸一、四〇〇金メ一、三〇〇

同買方 丸富七〇〇丸三、四〇〇

中限賣方 丸ミ七〇〇丸一〇〇

同買方 丸ミ二〇〇金メ九、三〇〇

先限賣方 丸富六〇〇丸二、四〇〇金メ二〇、八〇〇

同買方 丸ツ一、四〇〇丸一、七〇〇丸大四〇〇丸ミ二〇〇丸マ八〇〇

依田少將から

本社へ來信

拜啓御芳書有難く拜誦今回の出動に際しては格別の御後援を忝ふし有難く存候御地御同慶の至りに存じ候ながらよろしくお願ひ申上候且つ々御寄贈の慰問紙は將士一同御好意を感謝しつゝ拜讀仕り居り候

太平漫語

◇瓦斯府營代案も、御叙の辯だが『議會』の間に吝しくはないやうだ。

◇しかし、例の實練議員から『府民の總意を無視した』と、いはれるほどのヤクザな代案でもないやうだ。

◇『議會』も、代案そのものが箸にも棒にもかゝらぬとはいつてみない。實現に緣の遠いのが『議會』のおめにあづかれめだけ。

◇また仁川で、自動車が海を走つた。こんどは又お客を乘せてみた。但し、お客は新聞長でも署長でもなかつた。

◇濟州島の海女が駐在所に暴れ込んだ。親が掛けにくゝて、警察官も手古摺つた。

淋病根本征服

果然、轟々たる賞讃の叫び　感激狂喜の全快者續出

ブラオン銀　ケンゴールの發見

前東京吉原遊廓吉原病院長佐藤榮先生の努力

恐るべき淋疾

安全なる局所療法

九州帝大旭博士發表

赫々たる好評

ブラオン銀の驚異的發見

この反響に聽け！

豫想以上の成績

醫學博士　山田詩一

人類幸福のために

醫學博士　北井幾八

悉く快癒

醫學博士　山崎和雄

感謝の聲

◆薄紙を剝ぐが如く

東京府下代々幡町　井田義信

◆酒にも運動にも再發せず

本所區横川町　川谷細吉

◆愉快に活動

東京府下大井町　田邊吾一

◆同病者の友にも

東京府下和田堀町　大川誠

◆根本的に全治し同僚も全快の喜び

長野縣諏訪町　柿崎三郎

◆難症が十日で全治

宇都宮市西原町　澤村恒次

價格　二〇瓦入（約十日分）三圓八十錢　五〇瓦入（約廿五日分）七圓　八〇瓦入（約四十日分）十一圓　送料　內地　十五錢　海外　四十二錢

東京市芝區三田四國町　日東藥化學研究所

朝鮮總代理店　京城府南大門　新井藥房

取扱所

歩武堂々 聯隊の耐寒行軍

傳家の寶刀を腰に 勇躍征途に上る

歡呼の聲に送られ 豐島騎兵〇隊長出發

【羅南特電】錦西の激戰に於いて名譽の戰死を遂げた古賀大佐に代つて、騎兵第〇聯隊を率ゆる新聯隊長豐島中佐は二十二日夜着任、同夜は旅館〇〇に一泊翌二十三日午前〇時同町に〇〇出迎への同聯隊將兵を閲しつゝ同聯隊に赴き、聯隊長としての力強い第一歩を踏み出し、直ちに聯隊本部に入つて聯隊將校一同に訓示し、續いて〇〇において傷病兵を見舞ひ、將兵一同に對して悲壯なる訓辭を讀み、終つて師團司令部に出頭、〇〇師團長に着任の申告、各部に挨拶を了し、午後は道廳始め各方面に挨拶廻りに一日を費し、二十四日夜の〇〇列車にて〇〇の前聯隊長古賀大佐以下の遺骨を迎へ、〇〇〇〇所に安置して、暫くの時間を心からの通夜をした上、同夜十時一分發列車に依り、硝煙の滿洲に生き殘りの勇士を統率して一段の奮鬪活躍をなすべく、傳家の大刀を腰に衞へ官民多數の熱狂的見送りを受けて、はち切れる〔?〕〇〇〇をもつて雄々しく出發した(寫眞は豐島〇隊長)

血判で 從軍志願 關東軍司令部へ提出

【新義州】平北〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇利次君(三〇)は去る昭和二年三月以來大邱〇兵隊の兵籍として四年春ごろまで〇〇その他で活躍してゐたが今度再び滿洲で活躍したいから是非採用して貰ひたいと血判した從軍志願書を奉天關東軍司令部あてに提出した

興南驛の 劇的シーン 古賀聯隊長 遺骨の通過

【興南】名譽の戰死者古賀騎兵大佐以下十三名の遺骨は二十四日午前十時興南驛を通過して羅南に向ふ〔?〕ので興南在郷軍人分會から一般に通知されたので市民は興南驛に迎出のために婦人會、消防組在郷軍人分會、普通學校小學生。その數三千八百名が嚴正し列車の進入を待ち定時をすぐる三分機關車の〇〇かに興南驛に着するや興南與〇〇主任騎兵の好意により同〇〇の遺手によつて物靜かに〇〇られ歡呼の聲に送られて勇ましく出發した勇士が今は變り果てたる遺骨と化し原隊に歸るを見送る人々は何れも〇〇〇〇の面持で殊に婦人達のスヽリ泣きするものもあり非常な劇的シーンであつた各代表はそれ〴〵〇〇をなし約二分間停車の後この悲しい列車は羅南に向け發車した

忠淸南道議會

【公州】忠南道議會第四日目二十三日は午前十時廿分から開會出席二十二名(大田村田、瑞山〇〇氏欠席)〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇と議事日程に就て長々と〇〇立てそれより成元〇〇員(〇山)その他より各種の希望あり決行されたいとの希望を述ぶ

▲李中世議員(洪城)西部は入口の〇〇の〇〇は最も〇〇〇

[illegible]

▲非吉正議員(論山)道内初等教育の狀態を見るに〇〇〇は四學年制多く六學年制に延長さるゝ事は初等學校の〇〇が大部分は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible]

▲李山春議員(〇〇)各〇〇〇校にては授業料の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible]

▲〇〇學務課長 普通學校授業料問題は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible]

▲〇〇〇〇〇〇校の原任校長十數名を〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible]

▲村上地方課長 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible]

▲〇〇〇〇員(牙山)より〇〇の希望あり四時五分閉會

海州に 聯隊の設置要望

市民大會を開き 敷地の寄附を決議

【海州】〇〇〇〇〇〇に關し廿一日海州〇〇〇所で開かれた市民大會に於て海州市民は西鮮〇〇〇に於ける重要なる海州にはすくなくとも聯隊設置を要望すと〇〇〇を〇〇つて直に全會一致で敷地全部と建物費の一部を寄附するに決議して陸軍大臣同朝鮮軍司令官に左の如き決議文を電請した

朝鮮に師團移駐の際は當海州に少くとも聯隊の駐屯を實現せしめられ度之れに伴ふ敷地全部及建物費の一部は進んで獻納致し度

右市民大會の決議に依り請願す

平壤號

建造の議起る

【平壤】半島唯一の飛行聯隊所在地である平壤に於ては滿洲の曠野に活躍しつゝある我が國民の赤誠に成る愛國機第一號第二號に思ひ大邱、釜山地方に於て夫々愛國飛行機作製の計畫をなしつゝあるに平

中村大尉の フヰルムに引火

滿場の觀衆總立ち —大混亂を呈す

【光州】全南〇〇在鄕軍人會は二十二日〇〇郡〇〇〇〇において中村大尉〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇を開催し滿場立錐の餘地なき大入であつたが九時十分頃突然フヰルムに引火したので滿場の觀客總立ちとなり俄然大混雑を呈した〇〇〇〇〇其他極力防火に努めた結果映寫機を燒いたのみで幸ひ負傷を出さず無事鎭火した、損害は約〇百圓

七五の耐寒 行軍

【龍山】廿一日午前八時〇〇〇〇山へ向つた龍山步兵七十五聯隊〇〇兵二百六十餘名の耐寒行軍は十時

密陽を中心に

朝鮮最初の 鐵道警備演習

大邱步兵八十聯隊出動 在鄕軍人青年團も參加 三月四五の兩日

【大邱】大邱步兵第八十聯隊では三月四、五の兩日大邱釜山間で鐵道警備演習を行ふ事となり其細部に付目下現地調査班を派遣し演習の具體的方法を研究中であるが大體の想定は密陽を中心に大邱、釜山間各驛に守兵を配置し鐵道破壞の〇〇〇〇〇〇場合に依つては特別救援列車を仕立て救援隊を急派する等現在滿洲そのまゝの用兵鐵道警〇を研究する朝鮮最初の大規模の鐵道警備演習であるが、參加部隊は大邱步兵第八十聯隊の一個大隊の現役兵と在鄕軍人青年團等であるが兵器は全部新しいものを使用することゝなつてゐる

飛行機を貰ひに 戰雲の奉天へ

飛行學校を建てる 木部孃單身北行

【鎭南浦】西鮮三道を背景とし平壤に飛行學校建設の計畫を樹て活躍中の鎭南浦三和町女流二等飛行士木部シゲノ孃は二十三日總督府を訪問し同計畫に要する經費約二萬圓の寄附金募集許可願を提出し二十四日朝鎭南浦した(?)が同孃は奉天の飛行部當局に交渉し今回の事變で獲得した張學良軍の飛行機中から使用に適する飛行機を物色しそれを拂ひ受ける爲め二十四日夜行で雄々しく單身戰雲の奉天に向け出發した

農林學校の 生徒を人夫監督

机上から實際へ 一石二鳥の妙案

【大邱】昨年夏期休暇を利用して砂防工事に大邱農林學校生徒を人夫の代役に使役して相當な効果をあげた慶北道山林課では今度又春期の植林に際し人夫監督の格で本春の林課卒業生三十二名と四年から五年に進級する三十八名、總計七十名を三月下旬頃から約二十日間採用することゝなつたがこれには一日一圓乃至一圓二十錢の日給を支給する事で採用されるもの は机の上で學んだものを實地に就いて習得するとが出來るばかりでなく在校生は幾何なりとも學資を稼ぐとが出來て一石二鳥の名案として歡迎されてゐる

鐵道を中心とする 培養道路を鋪裝

十ケ年の繼續事業として 慶尙南道で計畫

【釜山】道内における道路網計畫の完成を期しつゝある慶南では今回更に鐵道を中心とする培養道路の鋪裝計畫をたて十ケ年の繼續事業にて總工費四百萬圓を要する見込みであるが差當り財政のゆるす範圍内にて可及的に計畫の遂行を期し目下調査中であるが鋪裝道路の全延長は五百六十四キロ百四十一米で鋪裝の路面をクラノリシツクコンクリート構造とし實現可能の場合には釜山馬山間、晋州昌州間の如き交通量の最も大きい路線より着手して漸次他の主要路線に及ぼす計畫である

中部線の汽動車 廿五日から大型增配

【大邱】慶北大邱浦項間の東海中部線のガソリン汽動車は從來二十五人乘小型七臺六十五人乘大型四臺を配置してあつたが汽動車は速力が早く振動もなく乘心地がよいので非常に好評を博しいつも滿員となり利用者が多い爲め二十五日から小型二臺は機關車として大邱に四臺慶州に三臺を大邱に配置して以前の時間と同じく運轉する事になつた

〔?〕列車で〇〇内鮮官民に送られ出發した

自動車の火事

【釜山】二十四日午前七時頃釜南〇〇〇〇〇〇仲町拔木自動車部格納庫内にある自動車から發火し大事に至らんとしたが逸早く驅けつけた附近の人々や消防組員の力に依り自動車二臺を半燒したのみで鎭火した損害約一千圓原因は取調べ中

銀鈴

◇…關西〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇會、平壤中學校々内氷上大會は共に卅一日平壤大同江上で擧行する(平壤)

◇…鎭南浦穀物組合は廿八日午後四時から公會堂で定期總會を開く(鎭南浦)

◇…平壤商工會議所は廿七日議員總會を開き昭和七年度豫算を附議する(平壤)

◇…平北定州公立〇〇〇〇小學校創立廿五年記念式を二月一日午前十時から同校において擧行する

◇…江景小學校では〇〇〇〇〇〇〇に肝油を服用させる事とした(江景)

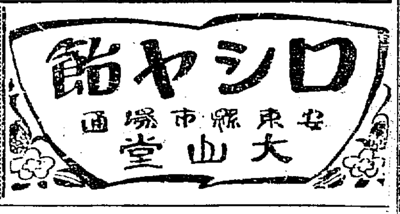
◇…滿洲出動勇士の〇〇〇〇〇〇〇〇〇滿洲に〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇太郎、原剛子一行は歸途二十六日平壤へ乘込み廿七、八兩日午後六時から金千代座に出演(平壤)

◇…鹿水警察署屋上に新設中であつたサイレンは二十日竣工を終り二十一日から鳴る(鹿水)

◇…釜山府稅大島良士氏は平壤在住記念として平壤〇〇〇〇〇〇へ金五十圓寄附(平壤)

◇…通川郡長から成〇〇〇〇〇〇に榮轉した山本正一氏は通川小學校へ十五圓普通學校へ十圓在郷軍人分會へ五圓寄附(通川)

◇…興南消防組は廿七日午前八時から防火の大宣傳を行ふ(興南)



眼科 耳鼻咽喉科 荒川醫院 京城本町二丁目(明治製菓裏) 荒川正雄 電話本局一五三四番

寒稽古納會

鎭海 鎭海警察署では廿二日午後二時から南社道場に於て各官公署長並新聞記者を招待し盛大な納會式を擧げた入賞者は左の如し
▲劍道 一等荻原巡査、二等井相巡査、三等立川部長 ▲柔道 一等渡邊巡査、二等松尾記者、三等朴巡査
尙ほ鎭海[illegible]は廿二日午後一時から同所講堂で盛大な寒稽古納會式を擧げた

晉州 晉州警察署では去る十五日から武道寒稽古を行つて居たが二十二日終了正午から警察武道で納會を行つた在住の有段者を始め多数の飛入あり稀る盛會を極め午後四時閉會した

金泉 金泉署では去る八日から武道寒稽古中であつたが二十二日納會を行つた

慶州 慶州署では去る十日から武道寒稽古を[illegible]中のところ二十二日[illegible]を統とし午後二時から同署武道場において武納會を開き終了後手料理の豚汁で親睦を圖つた

公州 忠南道警察部長公州警察合同武道寒稽古納會は二十三日午後二時警官教習所に擧行した入賞者は左の通り
▲劍道一等[illegible]巡査部長(公州署)二等[illegible]巡査(同)三等[illegible]巡査部長(保安課)▲柔道一等[illegible]村巡査(衛生課)二等[illegible](公州署)

鳥致院 鳥致院警察署[illegible]武道寒稽古納會は廿三日午後一時から武道場で開催、入賞者[illegible]二等[illegible]

光州 全羅南道警察部にては武道寒稽古納會を二十四日午前十時から武徳殿に於て開催紅白試合を行つた[illegible]午前十一時から[illegible]納會を開催[illegible]は試合終了後[illegible]試合を行ひ盛會[illegible]

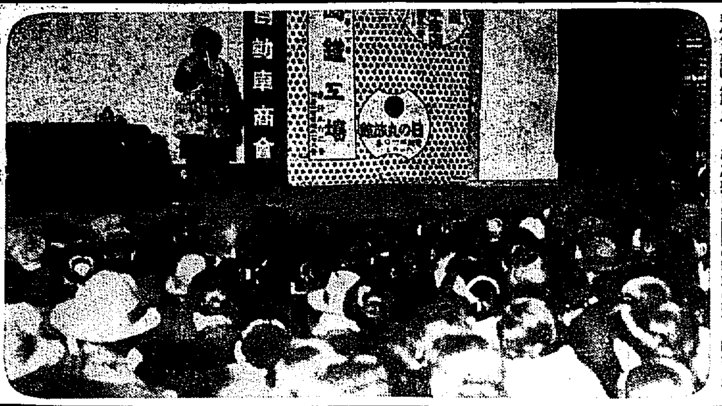
羅州 羅州警察署の武道寒稽古の納會は二十三日午前十一時から武道館において行はれた當日の出場者は[illegible]四十九名で試合の結果左の諸氏入賞した
▲劍道 一等(署員)山田良、二等(同)西村[illegible]、三等(同)小林[illegible]次郎、四等(雇員)田中秀[illegible]、五等(署員)山崎[illegible]
▲柔道 一等(署員)光永光盛、二等(同)金昌水、三等(同)米永榮、四等(同)朱[illegible]、五等(同)戶次部[illegible]

江華 江華警察署では寒稽古納會武道會を二十二日同署武道場にて開催柔道部一等[illegible]には本社の銀メタルを贈つた柔劍道入賞者は左の如し
▲劍道一等 [illegible]二等[illegible]▲柔道一等[illegible]二等[illegible]

通川 通川警察署では去る九日から小學校講堂で武道寒稽古を行つてゐたが二十三日午後一時から同所に於て官民多数を招待の上寒稽古納會を擧行した
當日最優秀の成績を收めた左記二氏には本社寄贈の「メダル」賞が授與された[illegible]次位として入賞者左の如し
▲一等[illegible](銀メダル)▲二等[illegible](銅メダル)▲三等[illegible]▲四等[illegible]▲五等[illegible]▲六等[illegible]▲七等[illegible]▲八等[illegible]▲九等[illegible]▲十等[illegible]

滿洲事變の講演と映畫
全州空前の盛況を呈す

【全州】全州における本社支局主催「滿洲事變講演と映畫」は廿四日午後一時第一回は先づ市内各學校生徒のみの爲に開かれた。高等普通、女高普、高女、工業、農業、第一第二普通、女子普通、小學校の生徒約千名、定刻前に既に立錐の余地なきまでの盛況で、[illegible]支局長の紹介で河野[illegible]長が從軍當時北のまゝの服装で登壇するや拍手堂も裂けん許りで、皇軍の殊に鼠師團の朝鮮出發から錦州入城まで說くところ一つとして誠忠ならざるはなく、涙ならざる事は無く一時間に亘る長講演は全く聽衆を魅了し唆一つするものもなく緊張し、映畫となれば皇軍の奮戰の状況手に取る如く、錦州入城の日章旗のひるがへるところ拍手嵐の如く第一回は豫期以上の盛況をもつて終り、第一回が終らざるに既に廊下側面には午後三時より開會さるゝ一般の聽衆押すなくの盛況で、これまた第一回以上の盛況で全州に於ける講演會は大成功裡に終始した(寫眞は河野[illegible]班長)



統營の市民大會
法院支廳昇格外四件決議

【統營】統營市大會開催に就きての市民大會は廿三日午後六時より[illegible]座に於て開催され場内、立錐の余地なく六百余名の來會あり午後六時半見玉[illegible]一氏開會の辭を述べ[illegible]を推して谷本氏議長席に就き会則の制定に入り満場一致可決引續き左記決議を可決し次で十數氏の熱烈なる演說あり最後に[illegible]間柱氏の激勵辭あり一同萬歲を三唱して散會した各市要問題に關する決議文は左の如し
一、法院支廳昇格決議文
全鮮四十六ヶ所の地方法院支廳中第八位にある統營支廳の合議制昇格に關し茲に運動を開始する爲め[illegible]保地域三十萬民衆の熱心と犧牲的誠意を披瀝し徹頭徹尾目的の達成を期す
二、道立水産試驗場設置決議文
統營は慶尙南道沿岸の中央に位し魚族の豊多なる漁場と新漁者の多きをもつて全鮮に冠たる水産都市にして近く運河通に[illegible]道路の開通するあり加之水路四通各般に亘り駸々として發展の途程にあり水産試驗場設置所として他に比類なき地の利を占むる[illegible]市民は熱烈なる努力新開拓[illegible]を惜まず働くまで道立水産試驗場設置の目的貫徹を期す

仁川府議懇談會
花町埋立＝仁川病院昇格 開港五十年記念事業打合

【仁川】仁川府議では二十三日懇談會を開催、花町埋立地、仁川府立病院經營、並に開港五十周年記念觀智開催の件につき隔意なき意見の交換を行つた結果府經營が個人經營かにつき目下有なやみの狀態にある花町埋立については杉野、吉木、[illegible]の三氏を委員に擧げ調査研究を依賴するに意見一致し、四月三十日を以つて委任期限の滿了を見る仁川病院については同病院存置の重要性からむしろ道立病院に昇格せしむべしとの意見あり村田、代田、[illegible]の三議員を道立病院設置要望委員にあげ盡力するに決し五十周年祭開催の件については後藤、吉木、代田、[illegible]、金[illegible]の五氏を祝賀準備委員に選び官界と協力、具體案の打合をなさしめる事に決定した

幹線道路用地買收
府に一任す

【釜山】釜山府が三百六十萬圓を投じて敢行する窮民事業中の難工事と目される幹線道路の用地買收と[illegible]家屋の補償立退き等け釜山驛前より大倉町を經て本町南濱町[illegible]地區の中心地を縱貫する計畫にて關係者も多く殊に地價と地上物件の評價を如何に處理する[illegible]か當局の難關となり、工事の進捗を期して[illegible]をはかるために府會議員と民間有志[illegible]の評價委員會制を設けて公平と[illegible]を期する方法を執ることが一部において提唱されてゐたが廿三日の府會懇談會にて協議した結果用地買收及び地價評價に就いては從來他の市區改正事業に當つて府當局が全責任をもつて實施した如く幹線道路の開設に當つても府當局の公正なる措置に俟つことゝし一決し用地買收評價委員會の設置案は沙汰止みとなつた

[illegible]商[illegible]道路外二件決議又[illegible]南[illegible]トラック道路は[illegible]必須の要衝に當り釜山往復の[illegible]貨物輸送改善は共に我[illegible]商工の發展消長に甚大なる影響を有す吾人は[illegible]と協力して徹底的に其目的達成を期す

國威宣揚の標識
國旗の徹底を遂麈

【釜山】慶南では本府來達の趣旨によつて去る廿二日各府郡面、社會教化團體、教育機關、町洞總代及び各方面へ國旗の總揚方を通牒し國威宣揚の標識を高く揭げて國民としての國體的自覺を促すところがあつたが更に昨年道内の優良村年團六團體へ大國旗一旒と旗竿費を贈呈したのを今後[illegible]に實行して優秀な實績をあげた青年團と部落へ大國旗を贈ることに内定した

大邱の火事

【大邱】二十三日午後五時二十分頃大邱明治町二丁目成錫永方の屋根裏から出火し同家を大半燒き同五時五十分鎭火した損害約五十圓、原因は漏電らしい又同日午後六時十分大鳳町八十[illegible]の金好[illegible]方温突[illegible]から出火し十分位で鎭火したが損害約五十圓

水産試驗船白洋丸の活躍
水産教育機關附設

【羅南】咸鏡北道昭和七年度の地方豫算が相變らず節約と緊縮の方針で、止むを得ざるものの外新規事業は殆んど手控の狀況にある事は既報の如くで産業課あたりでもしたい仕事は山程あるが、右の事情で目星しい新規な事業は殆んど出來ず、大部分經常的事業に一層力を注ぎこれを徹底せしむる方針であり、只來年度においてやゝ新味を帶つ事業として注目せらるは過般新造された水產試驗船の活用と水産教育の振興とである從來の試驗船は小型でもありその設備も不完全で自然其能力も十分ならず長距離操業の上に遺憾の點があつたので試驗繫船の折柄にも拘らず若干の寄附金をも加へて總工費五萬五千圓を投じて新造せられたのが新試驗船白洋丸であり同船は總數七十噸馬力十ノットの新型船でいよいよ十九日正式に船名簿に登録を終へ近く出動作業に從事する筈であるが、從來の試驗船に比し船體の構造は勿論其の機能も頗る優秀であり、これが運用に要する經費は前年度に比し自然と膨脹して大分の增加を見て居り、これが活躍は道水産界の向上發展と利益増進の上に相當効果を齎すであらう事を期待されて居る、尙右試驗船の活動と相俟つて、斯界の向上を圖るため在清津水産試驗場に水産教育の普及に依る、斯界の向上を圖るため在清津水産試驗場に簡易な水産教育機關を附設したい希望で、産業課長[illegible]相當額を計上せられて居り、何分極めて適切かつ必要な施設であり多分實現するものと見られて居る

麻布の改良
咸北産業課の試み

【羅南】咸鏡北道産業課では、内地かねて麻布の改良に着目し、内地より優良綿種を取り寄せ、これが栽培を奬勵すると共に、毎年夏期一回、明川、吉州、鏡城等の各地に講習會を開催し、麻布の改良を奬勵しその成績は頗る顯著にしてこの儘で進めば、將來朝鮮一の有望視せらるるに到り、道當局でも非常に力を得て、本年からは更に一層これが指導と獎勵に力を注ぎ改良進步を圖る事に決した

間島に野獸疫流行
鮮内侵入を警戒

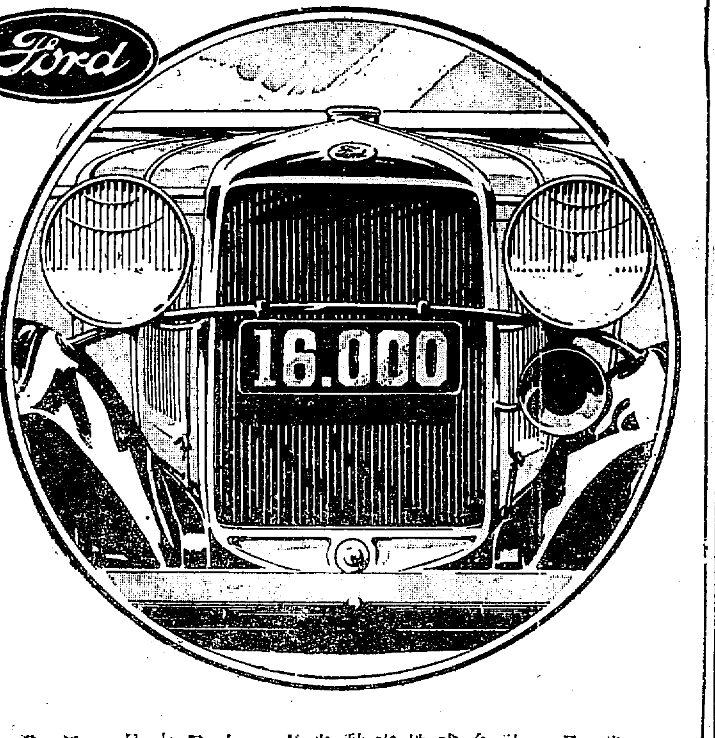
【羅南】最近間島龍井附近に牛疫發生既に二頭斃死せりとの噂あり、昨年の大慘害の苦き經驗もあり、道衞生課においては一大警戒を加ふると共に、眞相調査の結果右は牛疫で無く野獸疫である事判明、ほつと一安心はしたものゝ、野獸疫と雖も其の傳染性は相當猛烈であり、一旦侵入を見れば其の被害も免れ難いので、周到な注意をもつてこれが侵入防止に努力中である

地方集會

◇新義州新年宴會 新義州電氣株式會社では廿日午後六時より三樂別莊に新聞記者を招待して新年宴會を催した(新義州)
◇中込氏招宴 新義州中込福一氏は新聞記者團を廿一日午後六時より自邸に招待し新年宴會を催した(同)
◇原州蠶業會總會 原州蠶業會は二十二日邑會議室で總會を開き原州の蠶業に付附議した(原州)
◇製糸會社招宴 郡是製糸株式會社大田工場長長野幸助、忠南地道製糸組合長丸山虎之助兩氏は道參與員其他を廿四日夜角屋に招待慰勞宴を催した(公州)

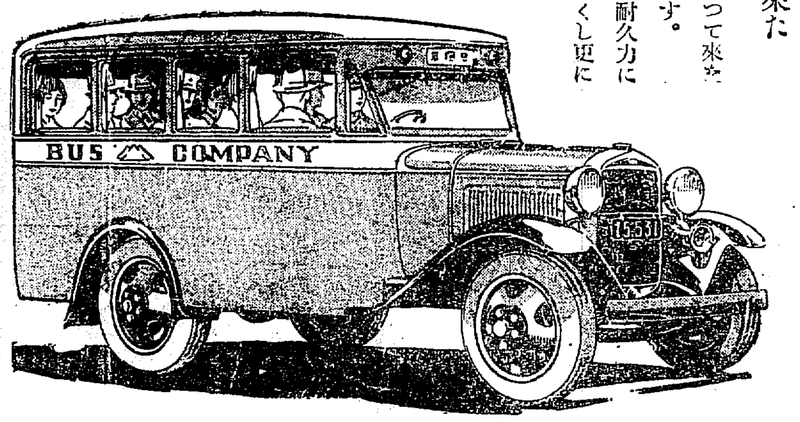
地方人事

▲岩田宗之助氏 二十四日夜天安より釜山道通過歸里
▲山本敬太郎氏(江原道衞生課長)廿四日朝釜山通過内地へ
▲吉口益氏(朝鮮社長)廿四日朝内地へ
▲渡邊尼崎知事 廿四日夜内地より歸任



乘合自動車の時代が來た

新時代の要求につれて旺盛になつて來たのが乘合自動車の利用であります。
この乘合自動車には構造堅牢で耐久力に富み多數の塔乘者の乘心地をよくし更に購入費と運轉費、維持費の經濟的なシヤシーを選擇する必要があります。
この特徵は新フオードAA型軸間一三一吋或は一五七吋シヤシーによつて充分得られるのであります。
乘合用特製スプリングも附けられます。



安子　日本フオード自動車株式會社　口[illegible]

資本金壹千五百萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
同 新龍山支店
同 龍山支店

内科 小兒科 今村病院
院長 醫學士 今村豊八
入院隨意 往診は可成午後一時迄に御申込みを願ひます

登録商標
りん病 めつりんこしけ
[illegible]
發賣元 安東萬正堂
朝鮮總支店
代理店
特約店

美味滋養の強壯飲料
(第二化學工業博覽會銀牌受領 國産東京博覽會優良國産賞牌受領)
◎ミツワ規那鐵葡萄酒
定價一壜 金二圓 (内地以外は荷造送料を加ふ)

ミツワ規那鐵葡萄酒は、小樽産良質葡萄酒に強壯料規那並に鐵を特殊の操作を以て融合し周到なる用意の下に精製せるものなるが故に完全なる吸收性と同化性とを併有し、規那、鐵及葡萄酒の滋養強壯力を遺憾なく發揮すると同時に、天然の佳香美味を具へ、何人の嗜好にも適する優秀無比の滋養的飲料なり。

强壯補血興奮作用卓絶 香味色佳良滋養力偉大
▼如斯人は榮養補給の目的を以て滋養料として◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ひらるべし▲
一、發育して居る人
一、榮養の不足なる人
一、顏色青褪め艶の無い人
一、生來虛弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱い人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病、腺病に惱む人
一、肺結核や肋膜炎其他結核性の病にて發熱の永く續いて居る人
一、手足が冷えて疲つかれぬやうな弱い人
一、疲れ易くて居る人
一、食事の進まぬ人
一、産後や病後の衰弱を早く恢復したい人
一、勉強又は勞働に疲れた人
一、老衰して居る人
一、神經衰弱に惱つて居る人
一、ヒステリー、俗に謂ふ血の道に惱まれて居る人

(現品縮寫)

代理店
大阪市東區高麗橋　松下商店　朝鮮京城府[illegible]町一丁目二十七番地　朝鮮藥商會
◎ミツワ石鹼本舖　東京市下谷區二長町(營業所)　丸見屋商店
全國一藥店・和洋酒食料品店・雜貨店
萬一御近所に品切の節は本舗より直送す

クラブ
カテイ洗粉

布袋入六包 正價三十錢

クラブ白粉本舖 中山太陽堂

生れながらに
肌美しく滑かな
花の女性を
培ふために
考案された
カテイ洗粉

母性思想の新展開 (下)

伊福部敬子

文時には世評の中より七人の兄弟を博士にした母といふやうな母も見られます。世評の中から多勢の子供を勉強させた苦心は認むべきでありませう。けれども何のための苦心であつたか？彼女の關心はたゞ彼女の子供にだけかゝつてゐました。子供を支配者の英雄に育て、被支配者の悲しい位置から脫せしめようといふことのみで、彼女の心には子供以外の一切のものがなく、社會全體の幸福といふやうな事は考へようともしませんでした。

私共の母性主義はこのやうな母性思想を悉く拒否します。

何故といふに、私共の社會は特に無産階級に屬するものには、山容子女史の子息の或は三人兄弟の躍向、七人兄弟の母者的存在によつて少しも幸福にはなれないからであります。かゝるブルジョア社會の英雄、支配者的權威者が出て支配階級の文化に貢獻すればするほど、支配され搾取される私共の生活は益々悲慘になり不幸になるばかりだからであります。

これによつて見れば從來の母性主義思想がブルジョア道徳から割り出されブルジョア社會の理想である個人主義的自由競爭の思想を反映したものであることがわかります。

けれども新らしい私共の母性主義は此の如くであつてはなりません。新しい母性主義は何を目標とすべきでありませうか。

私共は常に社會全面の幸福といふことを基礎とし、その社會がどういふ方向に向ひつゝあるか、いかなる文化を次の時代に建設することが人類をより幸福に導くものであるかを常に忘れてはならないのです。たゞ一言に、今日の文化をのこりなく繼承せしむるとは言つても今日の文化といはるゝ中にはブルジョア文化もあり、プロレタリア文化もあり、新興アナーキズム文化もあります。それを繼承せしむることによつて一層社會を不幸にするものもあるのです。この中の何をのこし何を選ぶべきか、何を子供に教へて何を望ましめるか？それにこそ私共の正しい文化批判的認識が必要とされるのです

然して今日私共の豫想し得る理想の社會は搾取も支配もない、共働共存の社會であります。そこではあらゆる人々が能力に應じて働き、必要に應じて取り、萬人皆生活の自由を樂しむことが出來るのです。このやうな社會では從來重んじられた支配者的能力などは顧みられず、反對に協同互助の精神が尊ばれ、英雄を要求せず平凡の人を求められます。一人の成功をいそぐことでなく、萬人と共に幸福ならうと考へられます。

このやうになつた時、人々ははじめて眞の自由と幸福とを得、私共女性は完全に解放せられるのです。そして社會はこの如き無支配無搾取の社會を招來すべく動いてゐるのです

私共は新らしき次の時代を生み育てるに、この新らしき社會を理想し、それを構成すべきものとしての子供を育てなければなりません。これが私共女性の上に課せられてゐる文化的任務であります。

家は破壞してゆく (中)

仲小路文雄

母はその娘の反逆的な批判的な態度によつて率ゐて來た家族主義を保持し得てゐる場合が少なくない。しかも母に加はつて惡く加擔するものは、母を自己の私有財產の一つと心得てきたやうな父といふものの、あやまつた權力である。父の利己的な家長萬能主義が、反つて家族を誘致するやうなことになることに氣付かないことは、まことに哀れなことであると留ひたい。權力そのものを振廻されることは甚だ迷惑であることは立場境遇を置き換へて見るとき痛切に感ぜられる筈である。

娘は、自分が社會機構の一分子として働くために、因襲のきづなをたち切つて古い家族主義を捨てなければならない破目に陷入ることは餘儀ない時代の要求である。

家庭のうちのことしか解らない母がどうして、現在のやうな娘の現境に期應して行かうとする社會的連帶の感情や思念、戀愛の新しい樣相、旺盛な知識慾の動向などを理解し得ることが出來よう。それは到底出來得ないのが本當のところで、それは偽りのない事實なのであるのである。

曾ての『父と子』との思想的爭鬪は、今では『母とその娘』との爭鬪にまで進展して來てをるのだが、この事は、決して事新しい現象ではない。

文學上の題目から見ても決して古臭いものでもなく、勿論、破倫的のあるべきものでもない。

イプセンの『幽靈』の悲劇は、今の世相にだつてないことはなく今日に古めかしいものでない。現に今偽りうした悲劇を繰り返してをるのは、有產、知識の兩階級中にあるのである。

一家族主義制度の一般的は、經濟的原因に基づき、特殊的には思想的原因に基づいて表はれてゐたことは以前からなのである。

×　×　×

イプセン、ショウ、ジョンス、トルストイ、ストリンドベルヒ、ツルゲネーフなどの諸作家は家族制度崩壞の指摘者である。又、シンクレア、エセーニン、グラトコフ、コタトウ、アプトンなどの諸作家は家族制度といふものゝ否定論の急先鋒者である。外國のことを引合ひに出さないでも宜いが、しかし思潮の關係には、決して等閑視するには餘りに無意味すぎはしないかと思ふだけのことである。觀念上の諸作家の作品を通して觀るとき、ここに何等かの通有性を認めるのであらうと思ふか。

×　×　×

女が生活の糧と位置を求めるためになつて新代産業の第一線に立つやうになつて無産階級者の家庭生活は、急に、家庭らしいものを失ひかけたのである。家庭らしいものを失ひつゝあるのであると、或る人達によつてよく言はれる。

無產者の貧困が、家庭を崩してゆくことは、新しくも無いが、中產者の家庭が壞れてゆく現象は、特異的であり特長的である點が看目に値するのである。

×　×　×

中產階級は、勞働階級よりも比較的長い間、物質的に惠まれた階級であつたことは、是認出來ることゝ思ふ。資本家階級が餘裕のあつた時代に、その餘裕で中產階級を活かしてゐたものだ。そのために中產階級の子女の生活は、一般的に、父或は夫の收入によつて彼女自身は勞働から遊離してゐたものである。しかも、勞働を蔑視してゐたものである。それが資本主義にひびがはいつて來るやうになつて失業や貧困が大衆的になつて來た時、勞働階級のやうに働くことを知らない中產者は、すがりつく財產さへ持たないので結局、夫や父の失業に因つて、生活苦難の渦中にあえがせられてゐた。明日からの夫婦生活子女の發育、これらに應じ得るものを持たない彼女達であるのが普通である。強いて持つてゐるものと言へば資本家階級のガマクチの紐にぶら下ることに因つて縛はれてきた有產的假裝と有閑性と、それに勞働蔑視の地位なものであることは、なさけないことである。でなればこそ徹底した受難と苦鬪とを見舞はざるを得ないわけである。

初鷄や神棚のうへの燧石　吉田冬葉

探偵小說 現場不在證明(アリバイ) (下)

甲賀三郎

コトリ、鼠の走るやうな音がした。ハッとした貞吉は、急いで懐中電燈を消して、じつと息を凝らした。而し、あたりはしーんとしてゐる。

貞吉は氣の所爲だつたかと、ホッとして、再び懐中電燈を照して、符號を動かして、金庫をギイと開けた。

と、突然！

『泥棒！』

と云ふ破鐘のやうな聲がした。

さうして、ムズと貞吉の手を握る者があつた。

あゝ、それは疑ひもなく伯父の佐吉だつた。彼は未だ寢てゐなかつたのだ。事によると、寢室の方で手紙を書いてゐたのかも知れないのだ。

『了つた』

貞吉は全身の力を込めて伯父の手を拂つた。然し年は取つても元氣のある伯父は容易に掴んだ腕を離さなかつた。さうして、

『泥棒！泥棒！』

と連呼するのだつた。未だ夜更と云ふほどではないので、もし、伯父の叫聲を聞きつけられては大變と、貞吉は夢中で伯父に飛びついて、兩手で喉をグイ／＼と絞めつけた。

やがて、伯父はバタリと床の上に倒れた。貞吉はホッとして懐中電燈を照り當てゝ床の上を照らしたが、その瞬間にハッと顏色を變へた。伯父の顏は土のやうに白くなつてどうやら呼吸が絶えてゐるらしいのだ！

貞吉は夢中で外に飛出した。さうして、外で、ネクタイの曲つたのと、ヅボンの襞を直すと、豫定通り、タキシを拾つて、劇場に歸つた。

丁度五幕が始まつてゐた。座席は暗かつたから、貞吉は安心して、席につく事が出來た。無論眼に觸らなかつた。

然し貞吉は次第に落着いて來た。彼はアリバイを持つてゐる。伯父は忍び込んだ泥棒に殺されたと云ふ事になる。金庫の中の書色いものは拔いてあるから、一切のものが彼の仕業になる。

芝居が濟んだ時には、貞吉はもう平靜を取り戻してゐた。彼は何事もなかつたやうな顏をして、悠然と家に歸つた。

家に近づくと、彼は何となく胸騷ぎがした。伯父の殺された事は、早くも發覺したらしく家の廻りは物々しかつた。

貞吉が玄關にかゝると、探偵らしい男が、暗がりから、ノッソリ出て來た。

『あなたはどなたですか』

『僕はこゝの家のものです。あなたこそ誰ですか』

『私は警察の者ですが。こゝの御主人が殺されましてね—』

『えツ、伯父が殺されたんですつて、だ、誰に殺されたのですか』

大袈裟に驚いた貞吉の顏を、刑事は奇妙な顏をして、ヂロ／＼眺めてゐたが

『あなたはどこへ行つてゐたんですか』

『僕は芝居を見に行つてゐたのです。夕方から、ずつと今まで』

刑事はヅカ／＼と彼の傍に寄つた。

『伯父さんを殺した男は分りましたよ』

さう云つた瞬間に、貞吉の手には捕繩がかゝつてゐた。

貞吉は飛上つた。

『た、なにをするんです。僕は今までずつと、ずつと、芝居を見てゐたのです』

『ハヽヽヽ、さ、隱さないで、一度鏡を見てごらんなさい』

貞吉は家の中に連れ込まれて、金庫の前に立たされた時に、うーんと云つて、氣絶して終つた。

彼の眞白なワイシャツは、アリアリと紫のインクで汚されてゐた。

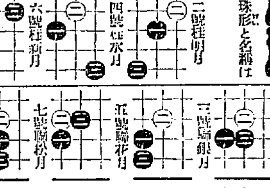
それは伯父が手に握つてゐたスタンプで、捺されたものだつた。(完)

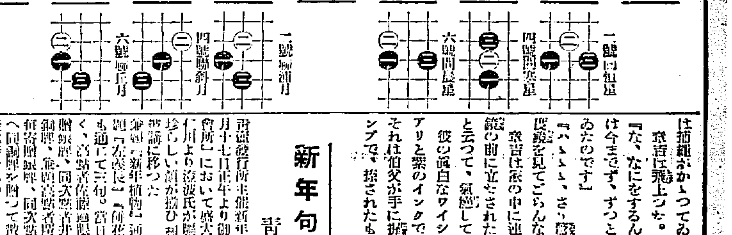
聯珠の話 (四段)

後藤紫葉

基本珠形 (一)

聯珠は先手の第三珠の打方で非常に雜多の形ができるのでこの先手の第一珠と第三珠の關係を規定して基本珠形を卅一種作つてある。珠形に分ければ桂馬七種(七桂)一間飛七種(七間)斜七種合計廿一種ができる。基本珠形と名稱は左の通り





(九月集)…(七)

聞くばかり遊びほゝけて稲かねば夏の日輪よこれ目立つも　春川　西村まさと

道一つ隔つる家よりひゞき來るラヂオかゝましむし暑きよひ

我がみて死ぬる夢見て醒めにけりともし火暗き旅の二階に

雨後の用水の濁りまだ澄まぬ岸邊にはやも早稲稗子は立つ　中田水冬美子

もろこしの稲末の露をゆすりつゝそこはかとなく秋の風吹く

こおつけの致祝くらむ道の蹄はよき生活の幽に醉ひつつ

働けど任ふ代もなくうらぶれし人に心の糧はいらざり

神の加護待つゆとりすら今の世に有らざり人は習慣にて祈り

思惟の限りを盡くしそのあとで物與れといふ人を嘲ふも

思ひ出で、點立てゝ笑ふそのかみは死を思ふ程泣きしそのこと

：(十月集)：完

暮に向へば露の匂ひて夜の風(病を病みて)　京城　霧坂石火

さんざんに荒れて賭の石仰　同

月のかげ白き洞に眼眩みつ(游翔)　同

山深く花新裂に霧垂れかゝる　同

草紅葉日暮の雲は散つてゐる　同

をみなの顔白し祭の夜の冷ねに　京城　國安一呂

祭太鼓遠し日向のうつつ眠に　同

日暮なり土蜘蛛が落葉ならしめ　同

朝に間聞は巣をはなるるよ　同

テクジュペリ氏著「夜間飛行」 三一年フエミナ受賞者 (上)

遠山宣次

フランス文壇に於いて、フェミナ賞と云へば、恐らく最も興味のある文學賞であらう

アカデミイ・フランセエズの文學賞を初めとして、ゴンクウル賞その他多くの文學賞があるが、ゴンクウル賞はともかくとして、その他の文學賞は、あまり文學的に云つて問題となるものではない

と云ふのは、アカデミイ賞が授與される小說は、新しい文學でない場合が多いのだ。何しろ、授ける方がアカデミイなのだから、アカデミックでそしてすぐれたものでなくてはならないからだ

ゴンクウル賞には、立派な作品が大いに選ばれる

一昨年は、アンリ・フオコニエの『マレジイ』が選ばれ、昨年はジャン・フェヤアルの『猿の宿』が選ばれた

ジャン・フェヤアルの『猿の宿』が昨年選ばれるとは、一般に豫期されなかつたので、僕もまだ讀んでゐないので紹介することが出來ない

ところが、アントアヌ・サン・テクジュペリの『夜間飛行』が、昨年のフエミナ賞を取つたことは、むしろ當然と云ふべきことで、この書物が出版されるや、讚評の辭は山の如く、從つて、僕も讀んでゐるわけなのである

元來、フエミナ賞は、仲々新興文學には縁の深い賞なのだ

たしか、僕の記憶してゐるところでは、ポオル・モオランの『夜ひらく』がフエミナ賞を取つて一躍文壇に持てはやされたのであつた

フエミナ賞をとつた『夜間飛行』の作者アントアヌ・サン・テクジュペリは、元來、生れぬきの小說家ではないのだ

彼は、アフリカに於ける定期飛行のパイロットなのであつた

アフリカを訪ねたアンドレ・ジッドと相識つて、處女作『南方郵便』をN・R・Fから出版した

それがきつかけで、彼の文學的行が初まつたのであつた

そして、第二作『夜間飛行』はアンドレ・ジッドの序文を附して出版された

ジッドの序文は、サン・テクジュペリの小說の本質をついたものである以外に、ジッド自身の最近の心境を語るものとして非常に興味が深い

例へば、今日まで、アンドレ・ジッドは、一種のニイチエアンとして考へられてゐた

彼の悪徳主義は、フランスの若い子女に、害毒を流すものだとして、隨分多くの非難をかうむつたものであつた

學藝界

◇本多功氏　折紙の研究家として聞ゆる氏は折紙全集とも名づくべき「おりがみ」の上卷を東京丸の内有楽館工政會內大坑具協會から刊行

◇朝鮮評論(十二號)　朝鮮の都市と農村(大内城大教授)國際政治史上より見たる朝鮮(奥平城大助教授)ほか一篇

新年句會

青壺主催

青壺發行所主催新年俳句大會は一月十七日正午より御成町一丁目內青壺發行所において盛大に開催された。仁川より遠渡氏が馳けつけその他珍らしい顔が揃ひ和氣藹々の裡に選句に移つた。兼題「新年植物」通じて三句、席題「左義長」「俳花」「風」これも通じて三句。當日の成績次の如く、高點者佐藤過眼子氏へ京日賞、同次點者井坂中郎氏へ同銅牌、兼題高點者白竹氏へ大銅牌、同次點者井草雁川氏へ同銅牌を贈つて散會したのは午後六時であつた

……席題……

過眼子十八點、中郎七點、左人六點、春雨五點、牛迹五點、青風五點、白竹五點、以下略

五點

土堤芝のともに燃ゆるどんど哉　中郎

社主の囃されるどんど哉　青風

四點

揚舟の間のどんどや漁師町　牛迹

面々と手伸はし居るどんど哉　過眼子

齋主に時計の簡の隠れけり　左人

三點

左義長の東風と競りし幟哉　春雨

俳花の中の大黒柱かな　雁川

凧子の背長雉ヶ凉もをり　鬼龍子

大凧の大漢江へ落ちにけり　荷古

火となりし稲莖とどんど哉　白竹

其他

切凧を堀の内より渡しけり　過眼子

樫の嶺となりゆくどんど哉　鬼籍

大わだに旭どんど哉　秋孫

俳花に猶の聲後追かれけり　荷古

樫の揺げ輌かりしどんど哉　白竹

我兒子南凧を揚居れり　左人

北山にうなづき上る奴凧　宇外

切凧を送ふて參道下りけり　姚賛

俳花の滿笑一間占めにけり　昂進

俳花に春愁かぐめ通りけり　白鳳

安蔵の床柱なり幽子花　春呼

參道の繭玉觸のおどけ面　九川

どんどの火喪ひ初め民兒　たつを

どんど火神社務所哉　曉雲

參道の並びて凧上げに兒　としを

地下室の窓の灯や幽子花　青鮮

……兼題……

左人十二點、白竹七點、雁川七點、九華七點、休川六點、青鮮五點、春雨五點、姚賛五點、以下略

五點

福壽草傾き合ひて咲きに鳧　白竹

若菜畑の雫となりし稲長哉　九華

四點

際に紅の芽のありにけり　雁川

ストーブの福壽草も反る鳧　左人

三點

漢江を渡りて若菜摘みに鳧　左人

蝶の府もめでたし非箱　同

上海に漂ふ福榮の片葉かな　春雨

小さき蝶若菜摘　九川

王陵を回りて若菜摘みに鳧　姚賛

餅箱に交りて福榮の二三枚　中郎

古畑の雪のうつろの舞かな　雁川

其他

薄氷の水の邊りの若菜摘む　休川

若菜摘む門の內なる畑かな　松青

氷江の解くる邊さや若菜摘む　青鮮

若菜摘一人となれば唄無　牛迹

福壽草微開もあらず咲きに鳧　左人

面暁の大テーブルや福壽草　白竹

向いて福壽草紙錦哉　曉雲

雪のけて若摘みたる畑哉　見梧

三方に惡ある葉や福壽草　たつを

七草の二種三種買ひにけり　過眼子

選目のからびて節の大きかな　會邑

朝陽の湖ま近なる若菜摘む　秋孫

灯りて色濃くなりぬ福壽草　春呼

倫保育カップや福壽草　青風

煙突のかゝれ往の福壽草　昂進

日本語の分りかぬるゝ若菜賣　森波

白き點二三羽遊ぶ福榮園　西岳

現代世界大衆小說集

新青年 春季增刊

新春の花形『新青年』增刊登場！

長篇讀切 怪人Z(ゼット)

Zジゴマの名はあまりにも有名だ。これは又新しい兇賊Zの活躍！倒くなき闘の跳梁。(英)J・ファアジオン

■君子豹變譚……(英)ウツドハウス
■戰場……(獨)L・レン
■アルペヂオ……(英)オーモニア
■獸の斑點……(英)キツプリング
■蟲の知らせ……(米)E・バトラア

輕快ラフスンコント

◇アッシリヤの考古學者(シャルフ)
◇賊と女(ウイリイ)
◇煩悶解決(R・モヌリ)
◇4時小・ロベール(フアリドン)
◇家庭映畫(ジルベイズ)
◇名探偵(レオ・モイラ)
◇恐怖の電話(フオレイ)
◇天上天下唯我獨尊(フアリドン)
◇彼とお華子(ウイレット)
◇日曜日の自動車(ビラボオ)
◇第五の傳天國(ビラボオ)
◇御面(ロフコ)
◇無罪の證明(ザマコイス)
◇打明け話(ノウロアイ)

我が讀者へ…：江戸川亂歩　長谷川伸　大下宇陀兒　甲賀三郎　直木三十五　ウッドハウス

■犯罪學實地教授……(英)M・コール
■畫を賣る妻……(米)フレミング
■アメリカの悲劇……(佛)ボンスヴレエ
■いゝ蟲わるい蟲……(米)タアキントン
■水に書いてある……(英)アールトン
■吠えるジャック……(米)J・カロル
■ハマボンド公園事件……(英)H・ウエルス
■薔薇莊綺譚……(佛)A・アクルマン
■チヨツキの汚點……(英)V・シーア
■赤ん坊の屍骸……(瑞)ハルストローム
■死の面……(佛)ブウテ
■降誕祭……(米)トム・ガロン
■家賃騷動……(佛)F・ペツシエ
■嫉妬……(丁)ローゼンクランツ

此の他二十篇滿載！

本號にかぎり 壹圓(送料三錢)

東京小石川戸崎町 振替東京二四〇番 博文館

日本共立火災保險株式會社

資本金五百萬圓

一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話又は御一報次第社員參上可仕候

本社 東京市京橋區銀座西六丁目三番地　取締役會長 原 錦吾

京城出張所 京城府本町二丁目三九番地(電話本局長一五六六番)　出張所長 三鍋才次郎

鮮內代理店所在地

虚弱に滋養と强壯 無臭ニンニクエキス 滋養鰻卵油 代金 百目 三圓 井上又七

贊化病院 京城府明治町一丁目 内科 小兒科 入院隨意 普通病室 傳染病室 完備 醫學博士 古城憲治

年賦定期貸付 普通銀行業務

京城府南大門通二丁目百四十番地ノ一 株式會社 朝鮮殖産銀行 頭取 有賀光豐

資本金參千萬圓

日本銀行代理店 日本勸業銀行代理店 朝鮮貯蓄銀行代理店

全鮮各地に支店派出所五十八ヶ所 東京大阪に支店あり

登錄商標

たんせき ぜんそく

文明は咽喉から

咳や喘息を捨置は非文明です

たんせき ぜんそく 百日ぜき の名藥 龍角散 は如何なる頑强な痰咳喘息でも、ピッタリ祛鎭る良藥です。今までに本藥に依つて救はれた人が如何程あるか分りません。殊に本藥を服用と、肺炎、肋膜炎、肺結核への變症を防ぎ、絶對に副作用がありませんから、服んで實にカラリと朗らかな心地の內に治療の目的を達する事が出來ます。

合理的喉咳藥

龍角散(りうかくさん)

龍角散を服用すべき人

(咳嗽)／たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
(喘息)／ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
(頓咳)／せき頻に出て夜中オチオチ眠兼る人
(流感)／流行感冒より起るたんせきの人
(肺病)／肺病にて常に力なきせき出る人
(血痰)／たん臭氣を帶び時々血の交る人
(音聲)／音聲のかれ又は咽喉の痛む人
(老人)／老人又は病人の慢性より出るせき
(小兒)／百日せき又ははしかせきの小兒

其他如何ほど頑固な呼吸器疾患のたんせきも、凡そ二三週間つゞけて服用されば其效果顯かに顯はれ、永年の難症も完全に救ひます

△副作用なく
△效果迅速く
△香味絶佳
スグ服ひ給へ

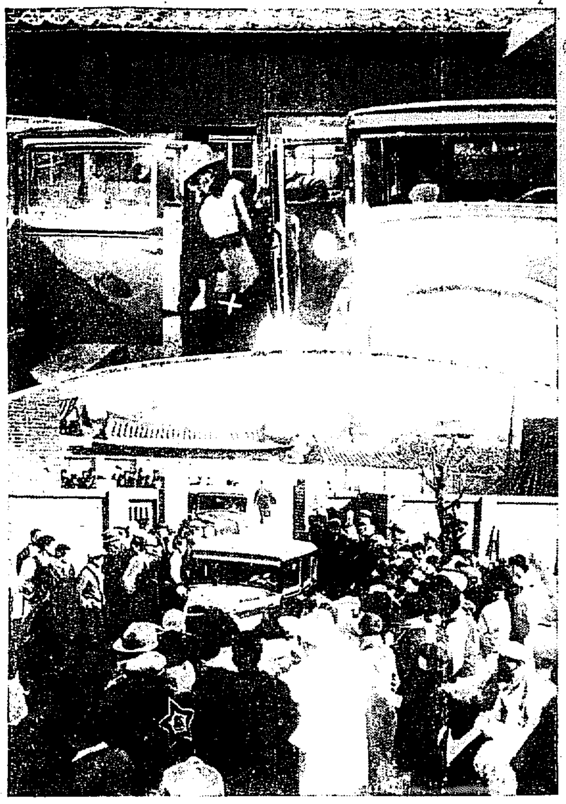
定價 二日半分 二十錢　四日分 三十錢　八日分 五十錢　十八日分 一圓　四十日分 二圓　六十五日分 三圓

東京市神田區豊島町 本舖 藥劑師 藤井得三郎 振替東京九一番 電話浪花一八〇二・一八五〇番

▽全國各藥店にあり△

A7—11

大怪盗檢事局へ



主犯左奈田甚吉の押送（上×印が甚吉）と平壤署前の見物の群衆

希望の春

朗らかに謳ふ待機する若人達

その反面には不安と焦燥

陰慘な受驗地獄の展開を前にして

悲喜交々の狂燥曲

もう間近に迫つて來た春を我一人獨占しようと待機中の少年少女があるかと思ふと、希望の彼岸まで藁を掴んでも泳ぎつかうとあせるいたいけな少年少女の受驗生がある、一方に歡喜と躍躍に謳つれば一方は不安と焦燥に躍つ、併し受驗生達は奮起と努力に充滿してゐる。やがてともに朗らかに朗らかな勝利の春を謳歌するだらう

事變の刺戟で軍人志望が殖える

學窓を巣立つ若人達にも時の流れが反映す

いまや大學專門各官公學校の門戸、校は一齊に受驗者受付を開始された、府內中學女學校の本年卒業生は『來れり』とばかりに受驗手續きをする、そして手續き終了後の彼等は今までに勝る猛受驗勉強が行はれた紙の上に走るペンの響

余名を出した事は面白い現象である、即ち主なる中學校女學校を調べて見ると大體次の通り

京城中學校 卒業生百五十名の內三分一は城大豫科、後の三分二が高等學校、旅順工科大學、內地の專門學校に進まんとしてゐる

龍山中學校 卒業生百七十名を出すが此度は高等師範、[illegible]

京城師範が激增して居る、又內地の專門學校も多く之隊海軍方面に十四名、年々專門學校志望者が激增して居る

第一高女校 卒業生百八十三名中上級に進まんとする者が現在では十四名、高等師範、女子大學等が多い

第二高女校 卒業生百九十九名中四十二名、大部分が高等師範學校、內地女學校である

御安泰の奉告祭

けふ朝鮮神宮と京城神社で

本月八日の東京櫻田門外の不祥事件に對し畏くも恙なくおはせられては廿六日神宮殿に山陵に勅使を差遣はされ御神前御安泰の奉告祭を執り行はれるが、朝鮮神宮においても廿六日午前十時から京城神社では同十一時から同様奉告祭を行ひ各團體並に官民多數の參列ある筈

討伐の犠牲

朝鮮部隊の死傷者八名

【龍山電話】今次の匪賊大討伐にかて二十四日午後までに判明せる我軍の損害左の如し

戰死者 平壤飛行隊花澤大尉▲同田中曹長▲第七十七聯隊第十一中隊一等兵森川正五郎

戰傷者 步兵七十八聯隊兵一名▲步兵七十七聯隊兵一名▲野砲二十六聯隊兵一名▲步兵第四十大隊兵二名

なほ我軍が匪に與へた損害は武器擄獲をなさしめた者三百名、馬數百、匪賊三百である

臺灣飛行で成功した勇者

勇敢で温厚だつた

【平壤特電】打虎山上空で壯烈の戰死を遂げた飛行第六聯隊花澤大尉は滋賀縣彦根市の生れで大阪幼年學校、士官學校を經て大正六年十二月騎兵少尉任官、久留米騎兵聯隊に配屬され次いで所澤飛行學校入學、八月市飛行第三聯隊、太刀洗四聯隊、臺灣八聯隊附、所澤飛行學校教官を經て現在に至るの勇者たる航空機操縦士で昭和四年所澤、臺灣間無着陸飛行に成功したことは有名である年卅九歳

大尉と士官學校同期生の配屬の關係にあつた井口平壤憲兵分隊長は

花澤大尉は元氣溌溂な運動好きの最も勇敢な將校であつた、實に惜しいことをしたものだが名譽の戰死を遂げて本人は本望であらう

と涙を呑んで語つてゐた又平壤飛行隊では將士一同大尉の溫厚にして勇敢な人となりを賞揚するとともに暗然としてゐる、同大尉は故[illegible]夫人との間に長男[illegible]君と長女[illegible]子（[illegible]）さんがあり夫人はその愛兒を伴はれて夫人の郷里彦根市水流町吉田[illegible]郎氏方にかへつてゐる。なほ大尉の死體は田中曹長の死體とともに廿五日打虎山に運ばれ奉天に向け愛國號により遺骸を奉天に運んだと平壤飛行隊に入電あつた

兩勇士の遺骸

二十六日奉天へ

【奉天電報】名譽の戰死を遂げたる兩勇士の身許は左の如くである

陸軍航空兵大尉　花澤友男

明治二十八年三月十四日生　本籍滋賀縣犬上郡彦根町大字芹川三丁目十九番地

陸軍航空兵曹長　田中鐵太

明治三十五年三月十三日生　本籍熊本縣鹿本郡田原村大字豐岡二千四百九十八番地

尚右兩勇士の遺骸は二十日愛國第二號機に收容檢死の筈であつたが變更され二十六日列車で打虎山發奉天に歸ることになつた

十一回目にやつと盗み出す

借金八萬圓の穴埋の目論見

大怪盗事件の眞相

【平壤特電】殖銀支店の大怪盗事件犯人は取調べ終結とともに二十五日檢事局に送致された右同時に平壤署では事件の眞相を發表したがすなはち主犯左奈田甚吉は昨年八月財界の不況の余波を受けて八萬圓に近い負債を背負ひ困り拔く鮮銀支店の金庫に目をつけ同志を物色中腹心の鶴子、濱田、牧野と謀らひ犯行の準備として昨年八月鶴子はわざ〳〵

京城 で鑿孔器一個を購入し自宅で試驗したがあまりに騒音がひどいので到底これでは成功覺束なしとして一時犯行を斷念して他に機會を待ち十一月下旬に至り左奈田は濱田、牧野兩名と謀りかつて鮮銀支店に給仕として奉職し同行の內情に精通してゐる城台を一味に引入れ、互に智嚢をしぼつて目的遂行につき劃策中同月末左奈田の妻マツノが感づいたので一時中止のやむなきに至つたが、なほ斷念せず終のない濱田、鶴子、牧野を除いて濱田方を本據として左奈田と城台兩人で準備を續け、遂に[illegible]を利用して鮮銀支店周邊の

偵察 を行つてやゝ自信を得た兩名は十二月初旬合鍵を以て金庫を開くべく○○を以て合鍵十余個を作製し同月下旬に二回に亘つて午前零時頃同銀行裏側非常門を乗り越へ熟手知つた行員溜り、手形交換所、營業所を經て本金庫に侵入し合鍵を使用したが○○製の合鍵一個で遂に目的を達せず兩名は更に一月初め頃二回にわたり夜半○○及び○を携へて侵入し本金庫マンホール鐵扉の破壞を企てたが何れも失敗に歸した、犯人兩名は他の○○を買求めて一月十日午後十二時侵入したが○○は大き過ぎて又失敗、懲々九日に稍小さな器具を買求めて侵入し漸く一個の鑿孔を遂げたので、大いに自信を得た兩名は十一月、十四日、十五日の

三夜 にわたりマンホール鐵扉に數個の孔を穿ち其部位に○○を斬り更に準備して行つた○○を嵌つてその破壞を防ぎ同夜はその儘退き翌十六日の夜即ち一月十七日の午前一時頃各種の器具を準備して侵入し更に數個の穿孔をなし遂に完全に扉を開けて小柄で勝手知つた城台はそこから金庫內に入り在中の現金十八萬圓を竊取し兩名が分擔して特に疑惑の目を避ける爲殊更便身通りを通つて午前六時一旦濱田宅に引あげ更に引返して鮮銀支店に侵入する

現金 は左奈田宅に運び、濱田は十一回マンホールの扉及び諸器具を撤出して濱田宅に搬し午前七時頃兩名に別れたのである。なほ城台は運搬用に退去の際府民館にあつた同行小使室[illegible]の中古自轉車を竊取し荷物を積んだがタイヤが動かないのでそれを曳いて行き、後に黄金町五味糯子店方前に拋棄した

各共犯の罪狀

鶴子、濱田兩名は犯罪の準備を知りつゝ鑿孔器一個と諸器具一切を十七日午後十一時頃に運搬して大同江中洋角島の北端に埋沒した、また濱田は十九日午前十時頃左奈田方に於て右鐵扉一杯につまつた現金六萬九千圓を左奈田の頼ひにより自宅炊事場外の土中に隱匿した共犯城台を引入れに諮話した左奈田の舅男牧野は犯行當日午後現金及びトランク一個を自宅から左奈田方に運搬を手傳ひ、十九日午後八時半頃左奈田方で三萬圓包一個の隱匿をたのまれ自宅に持ち歸り火鉢の中にかくした

濱田マツロは十八日正午頃犯行を知りながら自分の質權者とした左奈田の頼ひにより衣類を運び現金五百圓を受取り、自宅裏にある長火鉢中に隱匿した、左奈田マツノは夫の犯罪を知りながらその命により十七日午後四時頃現金一千三百圓を某氏の所に支拂ひに赴いたものである

城台の友人鶴重は十七日午前九時頃自宅を訪れた城台から賭博を受取り更に城台から十六百圓を受取りと稱する現金五百圓を受取り、更に城台から十六日夜同宅において宿泊した事實を知りつゝ城台を自宅に宿泊せしめた

小江一等兵

また名譽の負傷者は二中隊小江榮一等兵で去る十九日午後二時頃錦縣附近の匪賊討伐隊として敵匪狙撃の任務につき退却する敵に向つて射擊の目標を示してゐた際右上腕部に貫通銃創をうけたもので郷村字御領の出身である敢なんであつた大阪府北河內郡南を遂げたもので十一中隊にゐた勇中頸部に銃創を負ひ壯烈なる戰死

朝鮮人一名行方不明

【滿洲特電】新義州彌勒町一八朝成奎氏（）は右出動で飲食店開業中二十五日未明匪賊の襲撃を受け行方不明となつたので我軍で目下搜查中、たほ屈女百明月（）は足部に貫通銃創を受け我軍の手當を受けてゐる

使込み主任は横領罪

書類だけ送局

さきに本町署に檢舉された二千百圓の使ひ込み犯人府內太平通り、山本日動車商會專務主任[illegible]については、同署で取調べ中の處廿一日取調べ終了、身柄は一先づ釋放し書類だけ廿四日檢事局に送局されたが同人は單なる横領だけで取引先との關係は擬疑が晴れた

八田軍醫

看護中に殉る

【滿洲特電】村井聯隊步兵第七十六聯隊第三大隊附一等軍醫八田[illegible]氏は熊本縣鹿本郡田原村[illegible]太郎氏の息で錦州に居住してゐた溫厚勇敢な人で惜まれてゐる

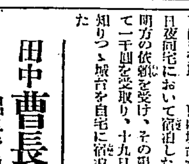
帯一千本贈呈

[illegible]婦人[illegible]千人針帯一千本贈呈の大壯舉が[illegible]『婦人俱樂部』一千個の寄贈でありますお願ひ本誌愛讀者各位の御協力を乞ふ次第であります、擧つて御應募下さい

和澤氏は本日連日激戰の大戰鬪の際に奮戰する我軍勇士の看護に當る中急性肺炎に罹り病を押して看護に當る中病勢募り昨日午後十二時急に惡化し看護の甲斐なくそのまゝ今曉逝去した

壯烈な戰死

森川一等兵



龍山步兵七八聯隊の犠牲森川一等兵は去る二十三日北寧線以北錦州附近で敵匪討伐に

田中曹長

溫厚で勇敢

花澤大尉とともに戰死した田中曹長は[illegible]に在住して一千圓を受取り、十九日夜倚を知りつゝ城台を自宅に宿泊せしめた

セルミニスト

渡邊姉妹入城

久しぶりで生家に

本社露臺て（向つて右から渡邊光子嬢、大場氏、渡邊英子嬢）

大邱榮町唯一人のセルミンの驥き手渡邊英子嬢は、令妹でありよき伴奏者である英子嬢を伴ふて本社主催による來る卅一日の音樂會に臨むために廿五日朝入城したが、午後二時半頃見にあたる大場勇之助氏と同伴で本社を訪れた光子嬢は語る

滿八年振りの爲城です、セルミンは昨年の春頃から習ひ初めました、非常に良い音色です、我國では現在の所、私一人しかやつて居りません、元來獨奏として起つた私ですが、今では、セルミニストの方が專門のやうになりました、京城は母校の地だけになつかしさも又非常なものです、卅一日の演奏會にはベストをつくしたいと思ひます

路傍に凍る多數嬰兒の死體

三百婦女子を拉致して逃げた非道な馬賊 暴虐の跡

【奉天二十五日發電】去る十六十七の兩日に亘り遼陽の西南[illegible]馬寨、及小北河附近に於ける我軍の馬賊討伐に際し馬賊側は附近の婦女子三百名を拉致しこれを荷馬車に乘せて逃亡したが彼女等の嬰兒の携行を許さずこれを車上より路傍に突きおとし放棄したので多くの嬰兒は路傍に凍死しその屍骸は目も當てられぬと傳へられてゐる

老婆の醵金

二十五日正午府內三坂通二六一松本テル（）が西大門署を訪ひ滿洲出征將士慰問金三圓十六錢を寄託して歸つた

▲一金七圓卅七錢也　咸南下碣公立普通學校職員及兒童一同

誠意の獻金

▲一金十五圓也　京城府漢江通三ノ一四、西國念佛修行者、佐上マキ

右は本社を通じて左の金額を木通り傷病兵並に在滿同胞への慰問金が贈られた

寒行巡禮をなして左社を通じて傷病兵慰問金として贈る

春の序曲明暗奏 1

勇壯なラッパに大衆の血は湧く

ジャズもセンチも吹飛んでただ滿洲の一色へ

スプリング・カム！窓から外に解放される歡喜がある、明快な大空によせる若人の熱情がある――がその影りを逆に走る暗き人生の憂鬱もある。惱みを知る人々の排しい路もある、資本主義國家瓦解の32年は、あまりにも多種多樣な姿を臨つて居る！そして今その年の春はわれ等が京城の街にしのびやかに迫る、綴つてゆく春の明暗奏はその序曲を物語るものである

◎

躍に咲く大和の國の戰士が屍をさらす滿洲の天地、われらが健康のために忌惇なる匪徒の擾亂を相手に戰火を交へた、草肚きは まりないその情景を形を籍る大衆に快適なリズムで訴へるのがあのレコード

◎

昨年九月十八日、滿洲事變突發するや拔け目のないビクターレコード會社は十月新譜に西條八十作詩の『起てよ國民』を賣り出した、それから今日迄同社では『滿洲娘』『戰捷の夢』『山田一等兵』を續いてコロムビア社では櫻井忠温氏作の『滿洲征旅歌』『滿洲行進曲』『滿洲行進曲』が出た、それに最近ではビクターの『滿洲行進曲』等々神目だけで二十余種、行人をとゞめて盛んに各樂器店で一齊にかきならすものは、滿洲の――征途の――勇ましい戰ひの調べ――勇壯な『滿洲事變』の洪水は今や最高潮に達した所のレコードである『滿洲事變』の洪水は今や最高潮に達した 景氣分に反影して このレコードの賣行き、不況時代の今日各樂器店ともおかげでうんと現ナマを摑り昔慰旺盛の他商人連を尻目にかけてゐるレコードが朗やかに奏でられる度に各樂器店頭は黑山を築いてゐる、夏の散步時の一情景として本町の夜を飾つてゐた、その姿は今寒夜の區別なくさかんなる行人のあつまりで賑はつてゐる

◎

滿洲事變――それはモダン日本の國民大衆の隙隙深く喰い入つた、そこには頽廢的なジャヅもなく、センチな哀愁歌もない、勇ましいラッパの音色であり、活潑なるピツクパレードの響きである。したひよろ春の明るさを百パーセント何へて大衆の直赤な心臟に突擊を試みてゐる

熱のある病人に滋養料とりこの

第七十八期貸借對照表（昭和六年十二月三十一日現在）

（朝鮮總督府ノ指定シタル預金、國庫金ヲ含ム）

現金及預ケ金	[illegible]
有價證券	[illegible]
割引手形	[illegible]
貸付金	[illegible]
當座貸越	[illegible]
荷付爲替手形	[illegible]
支拂承諾見返	[illegible]
動產不動產	[illegible]
他店勘定	[illegible]
株主勘定	[illegible]
合計	[illegible]
預金	[illegible]
借用金	[illegible]
支拂承諾	[illegible]
他店勘定	[illegible]
未拂込株金	[illegible]
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

昭和七年一月　株式會社　漢城銀行

仕事　要旨ず男女に適する簡易な宿題に自宅で永久に出來る手あり　●特約店募集●　取次店九龍北通り　博信社

電機學校　電氣本科（夜）　電氣工科（夜）　學生募集　無試驗入學

第一航空學校　學生募集

遞信官吏　小學校卒業にて立身出來る遞信官吏に志望者は本會規則を見よ　東京中野町二ノ三五　東洋遞信學館

萬年筆專門店　高級アート萬年筆製作　米澤萬正堂　京城本町一　電話本局四〇一六

配合飼料　東洋畜產興業株式會社

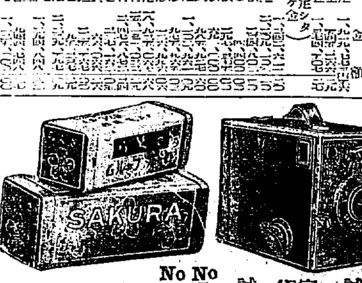
巡査　內地及植民地の巡査志願者は本會に於て合格必殺の秘傳を授く　日本警務學會

入院隨意　京城府永樂町二丁目　酒井婦人病院　酒井一郎

廿圓位の資本で儲る「コナ石鹸製造業」月百六十圓以上の儲け　中央化學工業研究所

謝出火御見舞　和光教園

宮內省御用達　菊正宗　京城　前田商店　釜山　本嘉納釜山支店



さくらカメラ　ベスト型　試驗用フヰルム一本付　定價金參圓五拾錢

安くて好く寫る學生用學術寫眞趣味普及の爲

さくらカメラ名刺型　試驗用フヰルム一本付　定價金五圓也

No.R27 ウエスト形45錢也

No.R20 ブロウニー形50錢也

朝鮮特約店　寫眞機械　活動寫眞機　一般材料　島田誠昌堂　京城明治町二　電話本局一九一九

京日案內

貸家　[illegible]

代診　[illegible]

店員　募集十四五才より十八才迄の內　[illegible]　吳服店

下宿　[illegible]

巡視　[illegible]

讓店　[illegible]

外交　[illegible]

麻雀　[illegible]

恩給　[illegible]

毛皮　[illegible]

ほね　つぎ　[illegible]

恩給　[illegible]

古本　[illegible]

特別案內

產婦人科　入院隨意　芦刈醫院　漢江通　電話龍山一〇九番

命の最高峰 (26)

平山蘆江 作
布施長春 畫

二六

『そのきよ子だがね』と山路は云ひ出した。

デパートのショップガールがカフエの女給になるのだから、湧川から聞きなはつて聞かれる段になると、そこにまづ云ひわけをつけなければならない。自然、湧川の目をよけるやうにして、山路はぼつり／＼と、カフエソロモンの事を物語つた。

『女給か』と、湧川は一口にかつとばした。

『女給といつてもね、それは實に堅い娘なんだから、女給が固過

で、女給ぶしらお固過で、實際、おれ、逢つて來たからなア、その上、カフエそのものが、ただのカフエとちがつて、ある洋酒屋の宣傳の爲めに――』

『ははは、そんな事、あてになるものか。云ひわけが付くだけ、猶更、インチキ味が多いと見なければならない。併し、既に入つた以上、どうにも仕様がない。第一、三百圓といふ前借を――』

『いや、それは前借の意味ぢやないんだ。湊原自身のポケットから――』

『まア可い、可い、そんな事はどつちにでも、名義のつけやうはある。そしてきよ子さんは、既にゆうべからそのカフエへ泊り込んでゐるのか』

『いや、ゆうべは湊原の邸に泊つたかも知れない』

『湊原のやしきに』

湧川がはげしい聲で聞いた。

『さつきも云つたやうなわけで、一旦新橋驛へゆきかけた自動車を、麹町へ引かへしたんだから

ね。金持といふ奴は、もの事の考へ方が膠猾でいけないよ。もう遅いから僕にも泊つてゆけなんていふんだよ』

『それは膠猾なためぢやない。出し惜しみの爲めなんだ。金の支出に對して、往生際の悪いのは、ブルヂョアの通有性だ』

『なるほど、見方によつてはさうも云へるね』

『さうすると、遅いから泊つてゆけといつたのを、けさ中原がやつて來るといふ理由で、君だけかへつたのか』

『まアさうだ』

『そのくらゐなら、きよ子さんも、なぜ一緒に連れてかへらなかつたんだ』

『夜更に若い女と二人で自動車に乘つて、蒲田の方角を走ると、交番がうるさいさうだ』

『それは口實と見ても好いね』

『いや、そんな事はないよ』

『どつちでも好い、で、きよ子さんはおとなしく湊原のところに泊つたのか』

『泊つただらうと思ふ』

『だらうとは』

『實は新橋まで三人で一緒に來んだ』

『それは金をかれない前だらう』

『いや、借りたあとで、改めて新橋へ行つたんだ、湊原が僕たち二人を送つてやるといふ意味で』

『益々をかしいぢやないか、折角そこまで送つて來たのなら、そのまゝ、車を蒲田へ進める事が、どれだけの手數だ。殊にその車は自分の車なんだらう』

『うむ』

山路は默つた考へ込んだ。

湧川も默つて了つた。しばらくしてから、

『實はあの三百圓を、も少し引つて置かなければいけないやうな氣がして、僕は中原にかけあひをつけてゐたんだ』と、ひとり言のやうに云つた。

山路はバットを灰に突きさして、立つた。

『湊原のうちへ行つて見よう』

『今更行つたつて何の役になるものか』

『でも、行かないでゐたら――』

『ははは、かうなつた以上、もう少し成りゆきを見てゐたまへ。きよ子さんは君よりも、よつぽどしつかりしてゐるから』

湧川はもう何も云はないで、新聞に讀みふけつた。

山路も新聞を手にとつたり、ムヤミに煙をふかしたりしてみたが、何としても、テレくさいので、ぼんやり立つて、トミーを抱きながら表へふらりと出た。

のどかな小春日だ。

あてもなく、ぶらつくのに好い日和だ。

病人の枕許には、時ならぬ蠅が一匹、飛んで來て、うるさくつきまとつた。

『號外』

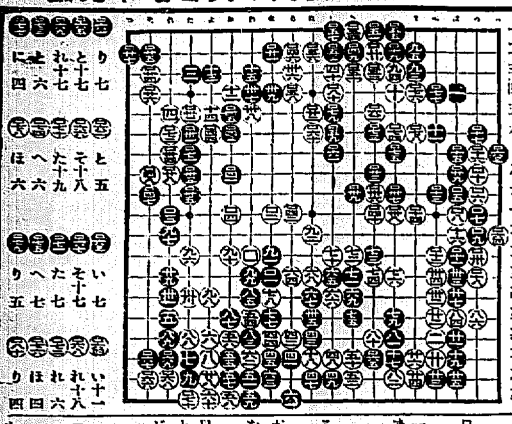
といふ聲が格子戸をがたつかせる。

『山路、山路』と病人は呼んだが、山路はどこへ行つたか、かげを見せなかつた。

湧川は一旦打つちやつて置いて見たが、でも氣になるので、立ち上らうとした。あせればあせるほど、身體の自由が利かない。

圍碁新局 (九)

先番 小杉丁(四段)
木村利博(二段)



讀者らん

▲云ふ事を聞かない生意氣だと何かに理屈をつけてぶん撲る、上級生に斯んな手本を示してもらつては迷惑な子弟をもつ親兄姉は心配でなりません(一智生)▲青葉町一丁目(緑ヶ丘)住宅地の道路に石を滓山積み込んで通れに困だ不便であるし朝から晩まで石を運ぶ牛馬車があの坂道に立往生して居るので急用其他で自動車で通るたびに坂の入口の邊で下りねばならぬ、私有道路なら止むを得ぬが天下の公道を昨秋頃から永く通行の妨害をすることはよくないと思ふ當事者の反省を促すと共に府及び警察當局の監督を望む(附近通行生)▲余は屢々水原に旅行するものなるが今や殆んど水原行きを断念するに至つた。何故か、余りに陰黙なる蒼蠅の烈しきが爲。甚では地方の個殺は思ひもよらないであらう。官吏の横暴が商人以上の行爲をなし恬として恥ぢず。商人亦無氣力にしてなす處を知らず、革命せよ。喝!(三生)▲二十二日のP生よ君の言はんとする事はもつともな事だ。セパードとか何とか云つて馬鹿犬を連れて歩く馬鹿オヤヂなどは絶對に官舍の通行を禁じてやるんだ、そして西城の平和を保たう(ナポレオン)▲廿日のK・K・K氏小生もタイプライチング個人教授を受たい一人ですポータブルを少時拜借致度存ます御住所共名を御通知致します(個タイ生)▲頭痛安東克巳様『小科』をお譲り下さるとの事誠に有難う。お手紙を差上げたく思ひますから御住所を精しくお願ひ申します(龍山エンジニヤ)▲二十二日の子供好様當方女子中等學校入學準備中の子供が居りますので御相手を願ひたく思ひます御來宅を御待ち致します(東四軒町六二ハヤシ)▲廿二日の子供好生様よ當方に御願ひ致したき子供有ります住所御知せ下さいませ御伺ひ致します(御願生)▲京城府内にて職旗を販賣してゐる店がありましたらお知らせを願ひます文盲行所內職旗社所在地は何處でせうか(知り度生)▲私は郡山流尺八中傳級を練習中の者でありますがどなたか光化門邊りで日曜日の午後研究方々御相手下さいます方は御座いませんでせうか(弥満山路暗雨)▲蘭欒にしたいのですが市内で生か乾燥したユズリ葉を賣つて居る所を御存じの方は御知らせ願ひます(木局四四番生)▲女の犬が離れました斯犬でありますを愛する人に差上ます(龍谷町二〇六渡邊トキ)

出版界

●婦人倶樂部(二月)第一特輯、時事問題早わかり(後藤朝太郎、松岡洋右、小汀利得、前田多門、ほか數氏)第二特輯、ものゝ經濟な使ひ方(二十四氏)第一線に蹈く良人を持つ奥様を訪ねて(四夫人)學校教育家庭教育子供をよくする座談會(市島正雄ほか八氏)その他 實話創作讀物に耽められてゐる。尚小説には良人ある人々(菊池寛)不滅の像(加藤武雄)いざよひ帖(子母澤寛)僕の結婚(湧川哲朗)悲しみの天使(中村武羅夫)美しき良人(細見茜輔)(福田正夫)(浮田謙)附錄、家庭經濟、科學的女性の上判断相性判斷、毛糸編物實物大型紙、など(五十錢)東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會講談社
●ツーリスト(二月)和文面・中日親善の先調(高久甚之助)アメリカ人の研究(新井正堂)米國雜誌記者の日本観、その他、英文面日本人一生の行事(堀谷默)その他(五十錢)東京丸の内一ノ一・ジャパン・ツーリスト・ビューロー
●大西亞事情(一六八號)サヴエート聯邦と佛蘭西新國(二十錢)東京丸ビル露西亞通信社

演藝案内

大正館 櫻井町 松竹直營
一月廿二日より封切 新興座 昭和七年度のトップを切る 松竹キネマ特別超特作
秋季特別大演習
侠勇三馬鹿烏 全八卷
想ひ出多き女 全十卷

喜樂館 日活直營
自廿二日至廿八日上映
戀の長銃
肥後の駒下駄

京城演藝館 本町三
一月十九日より午後五時卅分開演 東京キング歌劇團
歌劇レビュー團 三十餘名一行

京龍館 東亞キネマ
タリバリンダンス / 酒落 / 浮世 / 伊豆の / 女形 / 花嫁 / 深川 / 軍艦 / 放送局 / 音曲二重奏
嗚!南嶺卅八勇士

朝鮮劇場
愛慾秘叉録
戀は曲者活殺自在
巴里の屋根の下 全十卷
拳の王者 全八卷

東亞倶樂部
何者?大會
家なき兒
戀のモンテイーバンクス 大勝利

朝日座 本町五丁目
一月十九日より 東京演藝座
梅乃井秀雄一座 外三十八名

浪花館
第一喜劇 非曲 二場
第二社會劇 黄金 一幕
第三悲劇 井上中尉夫人の死 二場
第四新派悲劇 紅筆日記 三場
落語 三遊亭圓馬 コミック 三遊亭圓瓢 若柳流舞踊 萬歳 茶番

中央館 マキノ 帝キネ
奥様教育 全六卷
俺は水兵 全七卷
旅鴉一本刀 全十卷

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、威海衛、大連行 利通號
威海衛、芝罘、大連行 共同丸 一月二十七日午後一時入港 二月一日午前十時出帆
鎭南浦、大連、天津行 長山丸 一月廿九日午前十時出帆
代理店 仁川海岸町 野口商會 電話二〇番・一七三番

仁川出帆豫定
百福丸 一月廿六日 / 佐川丸 一月廿六日 / 慶州丸 一月廿七日 / 隱岐山丸 一月廿七日 / 開田丸 一月廿八日 / 玉榮丸 一月廿八日 / 旨盛丸 一月廿八日 / 佐賀丸 一月廿九日 / 櫻島丸 一月廿九日 / 五福丸 一月三十日 / 島海丸 二月一日
鮮航同盟會 仁川支部

朝鮮郵船 朝鮮汽船出帆廣告 / 木浦出帆 / 元山出帆 / 釜山出帆 / 日本郵船出帆 / 仁川出帆 / 博多航路 / 定期出帆朝鮮郵船 / 鎭南浦 / 國際通運